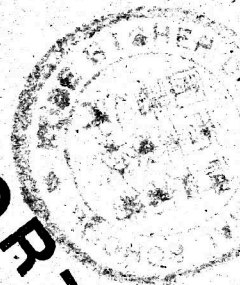


THE MONTHLY REPORT

OF

SEITO JITSUGYO KIOKWAI.

JUNE 1921 No. 41.



大正七年八月十九日第三種郵便物認可
大正十年六月二十日發行
(每月一回二十日發行)

大 正 十 年 六 月

青 島 實 業 協 會

月 報

第 四 十 一 號

△本號要目▽

- | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| □ 資 | □ 貿 | □ 海 | □ 內 | □ 商 | □ 法 | □ 經 |
| 料 | 易 | 運 | 外 | 境 | 規 | 濟 |
| 道 | 及 | 經 | 並 | 英 | 米 | 統 |
| 報 | 鐵 | 濟 | 為 | 替 | 相 | 計 |
| | 道 | 要 | 場 | | | |



青島實業協會月報 第四拾壹號 目次

資 料

△支那紡績業の盛觀 一

貿 易

△青島貿易概況(四月) 一〇

△主要輸出入貨物情勢(四月) 一一

△民船貿易(四月) 一二

海 運 及 鐵 道

△青島港輸出入船舶(四月) 一三

△內地近海運賃近況 一四

△山東同盟汽船就航 一四

△三驛發著主要貨物情勢(五月) 一四

△埠頭營業倉庫業況(四月) 一五

内外經濟要報

△大連關稅改正と關東廳の新財源 一六

△米國緊急關稅法の影響 一九

△滿蒙日支合辦事業 二一

商 況

□綿絲布 □砂糖 □燐寸 □白米 □花生實 □花生

油 □鹽 □牛肉 □雞卵 □石炭

銀塊並ニ英米爲替

△大正十年五月中表示 二五

法 規

△營業取締規則 二六

寄 贈 書 類

△大正十年五月中到著の分 三〇

資 料

支那紡績業の盛觀

左記一文は在上海武内氏の筆に成り參考とす
へきものあり茲に載録することとせり

△手工業 としての支那紡績の起源は古きも近代的意義に於ける支那紡績業の起源は一八九〇年李鴻章の上海機器織布局を創設せるに始まり今より僅に三十二年前の事に屬する。併し事實上の操業開始は現在の恒豐紡績の前身たる華盛紡績が一八九四年操業を開始せるを以て嚆矢とする。而して一八九五年下關條約成立前に於ては外人は支那に工場を設立する事を許されざりしのみならず支那人と雖も半意識的に紡績業を創始したに過ぎざりしを以て該條約調印前に存在せる支那紡績工場は僅に六工場十八萬三千錘に過ぎなかつた

△然るに 一度下關條約の調印により外人が支那開市に於てあらゆる種類の製造工場を設置するの權を認めらるゝや日英米獨先を爭つて紡績工場を設置せる爲下關條約調印の翌年たる一八九六年末には此等外人の經營に係る上海工場の紡績錘數は四十萬を算するに至つた。

其後日露戰爭に至る十年間は江蘇浙江地方に工場の集中せると需要急増に因る原棉暴騰、職工不足、事情不案内等の爲成績更に舉がらず支那紡績史の暗黒時代を劃し米人經營協隆紡績の額面百兩の株式が一兩に崩落せるは正に此時代の事に屬する。然

るに日露戰後支那財界好況を呈せると

△經驗も 積み各工場改善さるゝと共に漸く形勢一轉好況に向ひ殊に武漢革命以來紡績會社の新設擴張相踵ぎ更に這次歐洲大戰の永續して綿絲製品の奔騰を促し所謂紡績界の黃金時代に際會するや紡績企業熱は鬱然として白熱的狀態を呈した。今試みに支那紡績發達を統計に徴するに左の如し

年 次	工場數	錘 數
一八九一	二	六五、〇〇〇
一八九六	一二	四一七、〇〇〇
一九〇二	一七	五六五、二五二
一九一〇	三二	八三一、一〇六
一九一六	四一	一、一四五、一三六
一九一八	四九	一、二〇〇、〇〇〇
一九二一	六三	一、七四七、三二二

即ち下關條約調印より日露戰爭迄の増加率頗る低く日露戰爭後漸く激増の

△傾向を 示し更に歐洲大戰の刺激による紡績會社の勃興は驚く可き數字となつて現れ殊に世界紡績界の黃金時代たる一九一八年以後の激増は當時何人も豫想する能はざりし所にして驚異に値する。就中最も吾人の驚異を禁じ能はざるは既設會社の増資計畫及び會社新設計畫の簇出である。余が某社の調査を基礎とし更に華商紗廠聯合會、瑞和洋行等の調査並に支那諸新聞紙の報道を參酌して最近調査せる所によれば既に新設を決定せるは支那人經營會社及び日本人經營會社のみにして未だ日支兩國國民經營のに屬せざる紡績會社新設計畫を聞知しない。

△本邦人の計畫せる新設會社は十六社にして總資本額一億

九千八百七十七萬七千六百五十圓計畫鍾數四十六萬九千七百八十鍾なるが其内容及び工場敷設地左の如し

日本人計畫會社

社名	資本金	計畫鍾數	所在地
同興紡織	一五、〇〇〇千圓	七〇、〇〇〇	上海
豐田紡織	四、六〇〇千	三〇、七二〇	同
日支紡織	一〇、〇〇〇千	二〇、〇〇〇	同
東洋紡織	二五、〇〇〇千	五〇、〇〇〇	同
鐘淵紡織	一七、四二七、六五〇	四〇、〇〇〇	同
中華紡織	—	一五、八六〇	同
大日本紡	五〇、〇〇〇千	五〇、〇〇〇	同
山本紡織	—	—	同
日支紡織	三〇、〇〇〇千	—	漢口
天津紡織	—	—	天津
富士紡	一八、〇〇〇千	三〇、〇〇〇	同
内外棉	—	五三、二〇〇	青島
合同紡織	一八、七五〇千	三〇、〇〇〇	同
大日本紡	—	五〇、〇〇〇	同
日清紡織	一〇、〇〇〇千	三〇、〇〇〇	同
大華紡織	一〇、〇〇〇千	二〇、〇〇〇	同
南滿紡織	—	—	奉天
總計	一九八、七七七、六五〇	四六九、七八〇	

尙表示の如く資本金額の分明せざるものあるに拘らず斯く資本金額の巨額に達せるは大日本、鐘淵、東洋、合同、富士、日清等内地既設一流會社の資本金をも加算せる爲にして若し此等諸社の

△資本金 を控除せば五千九百六十萬圓となる。又工場設立地は上海八、青島五、天津三、漢口及び奉天各一會社にして上海の計畫鍾數は全計畫鍾數の五割五分弱を占め、最も早く且割

合に於て最も多くの鍾數の敷設さるべき蓋然性を有つてゐる。豐田紡織は工部局との電氣供給交渉完了次第操業を開始すべく同興又年内に其一部運轉を開始すべく鐘紡亦着々として工事を急ぎつゝあれば明春三四の頃に至らば機械到着の模様により一萬鍾乃至二萬鍾の操業を開始する豫定にして日本紡も既に敷地買收済にて最近建築技師來滬近く工事に着手すべしと確聞してゐる

△在外の 支那商人及び支那留學生が日本は素より歐米各國の産業狀態を親しく視察研究せる結果支那は歐洲大戰前既に企業の覺醒の曙光を示しつゝあつたが、歐洲大戰勃發後大戰の永續と共に物資供給に愈不圓滑を告げ、物資供給難に基く物價暴騰、物價暴騰に因る各種企業利潤の激増、果ては又大正八年五月以來の日貨抵制國貨提唱等の刺激を受けて、各種機械工業の發展を促進し益支那企業熱を煽揚するに至つた。而して這は戰前既に

△相當の 經驗を積み且相當の利潤を擧げ得るに至りし紡績業に於て最も著しく棉業棉製品の世界の狂騰と共に人氣は翕然として紡織業に集り、既設紡織會社擴張計畫の發表頻々たると共に會社新設計畫の發表また殆ど送迎に遑なきの感を呈した。左表は其盛觀を物語る有力なる證左である

支那人計畫會社

社名	資本金	計畫鍾數	所在地
緯通	一、〇〇〇兩	二四、一五〇	上海
永豫	三〇〇兩	二二、〇〇〇	同
普豫	—	二〇、〇〇〇	同
統益	六〇〇兩	一六、二〇〇	同
大中華	九〇〇兩	二四、〇〇〇	同

恒 大	五〇〇	一〇、三六八	同
振 華	一、〇〇〇兩	二〇、〇〇〇	同
東 華	五、〇〇〇兩	一、二〇、〇〇〇	同
宏 裕	—	八〇、〇〇〇	同
常 州	六〇〇	一、二〇、〇〇〇	同
豫 康	八〇〇	一、四〇、〇〇〇	無錫
慶 豐	—	一、四〇、〇〇〇	同
大 通	六四〇	一〇、〇〇〇	崇 明
天 成	八〇〇	一〇、〇〇〇	同
大 綸	六〇〇	一〇、〇〇〇	武 進
寶 成	二〇〇	四〇、〇〇〇	常 樂
震 寰	一、〇〇〇	二〇、七三六	武 昌
裕 大	一、〇〇〇	三二、一二〇	同
晉 和	一、五〇〇	二五、〇〇〇	山 西
裕 大	二、〇〇〇	三五、五一二	天 津
寶 成	三、〇〇〇	—	天 津
合 計	八、八〇〇兩 二二、六〇〇	五八六、四八六	

備考 資本金の單位は千元若くは千兩、兩となきは總て元とす

即ち當時及び其後に於て新設計畫の發表を見たるも而も未だ着手に至らざるもの及び工場未完成のまま今尙操業開始の運びに至らざる支那人紡績會社數二十一社にして其計畫鍾數五十八萬六千四百八十六に上り其資本金額は兩單位のもの八百八十萬兩元單位のもの一千二百六十萬元に達す

△既述の 如く紡績會社新設計畫は日支兩國民以外の名を以て計畫されたるものなきも支那人の計畫せる會社中には英米人等の加入せるもの問々發見さるゝを以て上記支那人の新設計畫は純然たる支那人會社のみなりと斷する事は出来ない。併し當

時英米人等は國を擧げて戰ひに従事し居りし關係上他を顧みるに遑なき狀態であつたから此大部分支那人の計畫に屬するものと見て大過あるまい。偕て

△吾人は 斯く所在に勃發せる會社新設計畫が如何なる徑路を經如何なる道程を辿りつゝあり又如何なる狀態に歸結すべきかを説かざるべからざる順序にあるが新設計畫實現の能否は既設會社增鍾計畫實現の能否及び其程度如何の問題と相關聯し此の理由は彼の理由を説明し彼の理由を演釋して此に及ぼす事を得る密接不離の關係を有するを以て先づ既設會社の擴張計畫を説明する事とする。由來新設會社簇出當時に既設會社擴張計畫の續出すべきは

△當然の 理數である支那紡績會社新設計畫頻出と共に日支兩國人經營の既設會社は各盛んに增鍾計畫を發表し殊に日本内地既設會社の對支發展熱は焰々として遼原の火の如く燃わた其狀況は上掲日本人計畫會社表を一瞥せば釋然たるべきを以て茲には敢て絮説せず、専ら支那内地既設會社の增鍾計畫を説く事とする。支那内地英人經營既設會社は英人會社新設計畫の發表を見ざりしと同一の理由に依つて擴張計畫に

△沒頭 する事を得ず僅に怡和紗廠千二百鍾の增鍾計畫を見たるに止まる。尙英人經營既設會社名、資本金及び總鍾數を表せば左の如く怡和、東方、老公茂三社にして資本金總額七百八十萬兩總鍾數二十五萬六千二百七十四鍾にして何れも上海に在り因に現在の怡和紗廠は從來怡和洋行の總理に屬せし怡和、公益、楊樹浦三社を合併せるものにして五月一日より新會社怡和紗廠として活動しつゝあり

英人經營既設會社

社名	資本金	鍾數
怡和	六、〇〇〇	一五五、四一〇
東方	一、〇〇〇	五〇、七六八
老公茂	八〇〇	五〇、〇九六
合計	七、八〇〇	二五六、二七四

△邦人の經理に屬する在支那既設會社は上海紡織(三井)内外棉、日華紡織、東華紡織の四社にして何れも工場を上海に有する其資本金總額は兩單位のもの四百萬兩、圓單位のもの八千萬圓にして現在の鍾數合計三十四萬八千八十五鍾に達し、増鍾計畫十一萬八千九十五鍾に上る。即ち左の如し

日本人既設會社増鍾計畫

社名	資本金	鍾數	計畫鍾數
上海紡織	四、〇〇〇 千兩	九六、四一六	四〇、〇〇〇
内外棉	五〇、〇〇〇 千兩	一八八、六一三	—
日華紡織	一〇、〇〇〇 千兩	五三、〇五六	二九、九五〇
東華紡織	二〇、〇〇〇 千兩	一〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇
合計	〔四、〇〇〇 八〇、〇〇〇〕	三四八、〇八五	一八、九九五

△支那人の經營に係る既設會社は資本概して小さく多きは四百三十萬元(華新)を超わず少きは十五萬兩(順記)十六萬元(利生)と云ふ少額のものすら存在する。従つて會社數は日本の四社英國の三社に對して四十社の多數を有し乍ら其資本總額は兩單位のもの一千六百五十七萬兩、元單位のもの二千九百四十六萬元に過ぎずして日英兩國何れの資本總額よりも低位に在るが、一方鍾數を見ると總鍾數百十四萬二千九百五十二増鍾計畫四十六萬七千七百九十四鍾に上り其總鍾數は日本の三倍三分、

△英國の 四倍半に垂んとしてゐる。斯く資本總額の比較的少額なるに拘らず總鍾數の驚くべく夥多なるは支那人既設會社實力の資本額に比し遙に充實せる事を指示するものにして、其原因は名は會社と云ふも株式會社少く經營者の信用を基礎とする個人經營、合名組織に成るもの其大部を占むるが爲めである従つて其基礎は概して鞏固なりと云ひ得ると思ふ左に

支那人既設會社

社名	資本金	鍾數	計畫鍾數	所在地
恒豐	一〇〇〇	一八、四四〇	三、〇〇〇	上海
德生	六〇〇	一六、一〇〇	—	同
厚生	一、一〇〇	一六、一八〇	三、四二三	同
振華	三〇〇	一三、五四八	—	同
寶豐	五〇〇	一八、二〇〇	—	同
鴻裕	一、一〇〇	一七、〇四八	二〇、五六四	同
寶益	一、〇〇〇	二五、五二〇	六、四〇〇	同
申新	四、〇〇〇元	六四、〇〇〇	二六、〇〇〇	同
同昌	六〇〇元	二一、五九二	—	同
三新	一、五〇〇	六七、八八〇	一、〇〇六	同
寶威	四、〇〇〇	四一、七七一	六〇、〇〇〇	同
利豐	九〇〇	三三、二〇〇	—	寧波
鼎新	四〇〇元	二〇、三三〇	—	杭州
寶通	三〇〇	三三、五六八	—	蘇州
申新(三)	一、五〇〇	九六、八四〇	四四、〇〇〇	無錫
寶勤	一、〇〇〇元	二五、三六二	—	同
振新	一、〇〇〇元	三〇、〇〇〇	四、六〇〇	同
福成	三〇〇	二八、三三三	—	同
大生	三、七〇〇	八二、一八〇	八、八〇〇	海門

崇明通州常樂鎮

濟泰	七三〇	三三、七〇〇	一〇、〇〇〇	太倉
利豐	七三〇	一五、〇〇〇	一	江倉
和記	九〇〇元	三三、〇〇〇	一	濰縣
順中(一)	一五〇	二二、〇〇〇	一	常熟
裕興	八〇〇元	一〇、〇〇〇	二、〇〇〇	蕪湖
楚興	一	六〇、〇〇〇	二五、〇〇〇	武昌
漢口第一	三、〇〇〇元	四、〇〇〇	一	同
湖南第一	一	四〇、〇〇〇	一	長沙
成興	二〇〇元	三、〇〇〇	一	武陳縣
豫豐	二〇〇	一〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	鄭州
廣益	一、五〇〇元	二、〇〇〇	一〇、〇〇〇	彰德
慶祥	一	一、〇〇〇	一	保定
通惠	四〇〇	二二、〇〇〇	二、一〇〇	蔚山
利生	一、〇〇元	一〇〇	一	京兆
裕新	三〇〇	一〇、〇〇〇	一	昭文
裕源	三、〇〇〇元	四、〇〇〇	二五、〇〇〇	天津
北洋商業	二、〇〇〇元	一〇、〇〇〇	二五、〇〇〇	同
恒源	四、〇〇〇元	五、〇〇〇	二五、〇〇〇	同唐山
革新	四、〇〇〇元	二五、〇〇〇	三、〇〇〇	青島天津衛輝
魯豐	一、〇〇〇元	一六、〇〇〇	二、一〇〇	濟南
裕泰	一	一五、〇〇〇	一	同
合計	一八、五〇〇兩 三元、六〇元	一、一四二、六五三	四六、七九四	

右表によれば支那人既設會社の分布は各主要棉産地に互り上海工場の總鍾數は全鍾數の三分の一にも充たず日、英人經營會社の全然上海地方に局限せられ居るに對して正に一特色を爲すものである。

△既述の如く吾人の調査を綜合するに、在支紡績會社既設社數四十七其鍾數合計百七十四萬七千三百十二鍾既設會社及び新設會社の計畫鍾數百六十五萬五千五百五十五鍾の巨額に上る。然

るに英商瑞和洋行の調査によれば支那既設鍾數總額百四十六萬四千八百四十鍾計畫鍾數七十二萬八千二百八十鍾と計上され、又華商紗廠聯合會の調査は既設鍾數百四十二萬二千八百三十二鍾年内新規据付數十一萬五千鍾になつてゐる。されば吾人の△調査は、不正確ならずやとの懸念なきに非ざるも他の調査は昨年六七月を基準とし吾人の調査は現在を基準とせる爲自から其數字を異にすべきと共に最高限度の見積により計算せると多少想像的性質を帶べる關係上斯かる差異を生じた譯である。而して計畫鍾數の差異は新計畫發表毎に記入せる關係もあり紡績界最好況期の猪突的計畫に基く架空的計畫をも算入せるのみならず此等計畫全部の實現には多數の年月を要すべきは疑ひなき事實なれば此等の點を

△考慮中 に入れて置けば七十萬と云ふも百六十萬と云ふも敢て差支あるまいと思ふ。殊に此百六十餘萬鍾と云ふ數字は支那の事情、世界紡績界の形勢如何により支那内地に擴張せられ得べき可能性を有する鍾數と見れば他山の石としての價値は十分であると思ふ。是吾人が敢て左に諸種の數字を表示して世人の一顧に供せんとする所以である。

	支那	英國	日本
既設社	四〇	三	四
新設社	二一	一	六一
鍾數	一、一四三千鍾	二五六、二七四	三四八、〇五八
計畫鍾	既設 四六八 新設 五八六	一、二〇〇 一、二〇〇	一一八、九九五 四六九、七八〇
合計	一、〇五四	一、二〇〇	五八八、七七五
既設	一六、五七〇千兩	七、八〇〇千兩	四、〇〇〇千兩
資本	一九、四六〇千兩	一	八〇、〇〇〇千兩

新設

八、八〇〇千兩

1

五九、六〇〇千兩

資本

一、二、六〇〇千元

備考 日本の一部にて會社數は内地既設會社をも一會社として計上せるも新設會社資本中には内外棉を加算せるのみにて他は算入せず又内外棉の如きは青島擴張計畫の内容を示す爲新設會社中に重録せり

△然らば 此迄然たる新設擴張計畫は結局實現せらるべきや否や將た又實現し得べき要素を支那が具備し居るや否やと云ふに、此問題は工場建設費、生産費、原料問題、支那國民文化生活増進程度に關する見解、政治上の安定、秩序安寧の程度等種々複雑なる問題の解決を前提とするを以て一概に之を論じ去る能はざる問題なると同時に本邦對支貿易及び當業者の利害に關聯する重大問題であるが、余は是等の計畫は或程度迄實現せらるべきものにして又支那は之を實現し得べき

△要素を 具備し居るものなりと信するものである。蓋し支那紡績業今日の發達は主として、(一)支那太番手の生産に恰好なる棉花を安價に供給し得る事(二)紡績會社の生産費に重大なる關係を有する勞働賃銀の低廉なる事(三)勞働者募集の容易及び時間金額其他の勞働條件に關する制限なき事(四)石炭の供給圓滑にして安く従つて動力に要する經費少く又上海地方は工部局より安價なる電力の供給を仰ぎ得る事(五)支那内地綿絲需要の遽増等に基因するものなるが、此等の

△諸條件 は現在と雖も何等從來と異なる所なく殊に勞働者の能率の低く無教育にして盜癖を有し監督困難なる事及政治上の紛亂絶わすして企業の第一要件たる投資の安全に對する從來の非難は年々其理由を薄弱ならしめつゝあるからである。殊に支

那は廣袤四百餘萬方哩の土地を有し世界陸地の十二分の一を占め人口四億の大國で剩へ無盡とも稱すべき富源を抱藏してゐる唯交通機關不備の爲其開發利用意の如くならざるを怨むのであるが鐵道其他の交通運輸機關は年と共に發達し農業鑛業等の

△富源の 開發利用は年と共に旺盛を加へ其結果支那内地の人民は益富裕に赴き其購買力は次第に増加しつゝある。のみならず支那人の文化生活程度は今尙低くして其大部は棉服を纏ひ資産家階級中絹布羅紗類を著用するものなきに非ざるもそれは四億の人口中極僅少にして國民の大部は絹布羅紗等を用ふべく餘りに貧弱である。而して支那の土地たる氣候概して溫和にして綿服を以て用を便するに足るを以て綿絲の需要は益増加の趨勢を馴致すべく支那紡績業の前途は洋々として海を望むが如きものあるを思ふ。依て吾人は更に本邦紡績對支發展の必要の有利なる事、經營に關する態度方針殊に織布兼營の必要等に就き論及したいと思ふ。

△本邦の 紡績業者として先づ注意を拂ふべきは支那綿絲輸入額が漸年減退の趨勢を辿りつゝある事にして此事實は對支綿絲貿易の將來に對して當業者の最も考慮せざるべからざる點であると思ふ。試みに支那綿絲輸入額を統計に徴するに一九一二年の輸入額は三億六百七十九萬四千九百三十三封度にして爾來一九一六年迄は多少の増減こそありたれ何れも三億封度臺に在りしも一九一七年には二億七千七百五十三萬三千六百六十七封度と俄然二億封度臺に墜落し更に一九一八年來は一億封度臺に激減せるは左表に示すか如し。

年次 綿絲輸入高(單位封度) 輸入額

一二年	三〇六、七九四、九三三
一三年	三五八、六〇三、七三三
一四年	三三九、四七五、六〇〇
一五年	三五八、五三二、三九〇
一六年	三二九、五〇八、八〇〇
一七年	二七七、五二二、八六七
一八年	一五一、五二二、一三三
一九年	一八七、四〇四、一六九

△惟ふに 此激減は市價奔騰、思惑熱の熾烈、日貨抵制、財界反動等の原因に基くべきは勿論なるも戦前七十兩臺に在りし上海爲替が漸落して九〇兩六四の新記録を示せる一九一二、一三年に輸入多くして却て上海爲替が漸騰して三十二兩二四の新記録を作る時代に輸入の減退を見たるは上記理由の外に支那内地に於ける棉絲生産増加なる一大原因の存在せし事實を否定し能はざるを思ふ。尤も支那棉絲生産額の的確なる數字を知るは頗る困難否不可能の事に屬するも今日一錘當り生産力を平均十四番手一封度として計算せる

△各年の 生産高として一般に承認せらるゝ數字を示さんに
(單位擔)

年次	産額
一〇年	一、〇五〇、〇〇〇
一二年	一、二〇〇、〇〇〇
一三年	一、二〇〇、〇〇〇
一四年	一、六〇〇、〇〇〇
一五年	一、六〇〇、〇〇〇
一六年	二、五七六、二五〇

一七年 二、五七六、二五〇
一八年 二、七〇〇、〇〇〇

即ち一九一八年は一九一〇年より百六十五萬擔即ち十七割の激増を示し一八年を歐洲大戰勃發の前年たる一九一三年に比するも尙百五十萬擔即ち十二割五分の増加を示してゐる。此事實は即ち支那紡績發展の反映にして對支貿易従事者並に紡績會社の慎重考慮すべき大問題たるを失はない。

△果して 然らば我對支棉絲貿易の前途は悲觀の外なきやと云ふに必ずしも悲觀すべきものに非ざるべし蓋し。支那紡績は原棉關係上太番手物即ち十四、十六、二十番手物の紡出を主とし殊に支那需要の最も旺盛なる十六番手の製造を主とし其割合は一六手五割五分、二〇手二割五分其の他二割の割合であると云はれてゐる。而して通州棉、陝西棉の良品を使用せば三十二番手乃至夫れ以上の細絲を製造し得るも、其品質米棉を原料とせるものに劣り従つて十二番手以下及び卅二番手以上は極僅少の生産を見るに止まり三二手、四二手等は日本に一二手、一〇手等は印度に之を

△仰ぐを 常例としてゐるのみならず支那絲の強度は米棉を原料とせる綿絲よりも低く唯手織用として何等の支障を生ぜざる程度にして機械による織布原料は經絲に日、印品を用ひ緯絲に支那糸を用ひつゝある。今日の狀態に於ては我内地紡績會社は到底在支紡績會社と此等太番手物の競争を爲す能はず將來も亦同様の狀態を持続すべきを以て我内地紡織會社は細番手物の製造に全力を注ぎ細番手物を以て支那絲に對抗する事を須要とする。

△此事は 昨年上半年中に於ける香港以外の支那各地向本邦

輸出棉絲番手内容に徴するも明かである。参考の爲大阪、神戸横濱、門司、名古屋、四日市、長崎、武豊、敦賀の各税關報告に基き作成せる此番手別内容を左に掲記して置く

番 手	捆 數	番 手	捆 數
一四以下	一、一四一・五	三三	二、四六〇・五
一六	一、七一・五	四〇	一〇四・〇
二〇	一九、七四六・〇	四二	四一四・五
三〇	二九六・五	四三	一三、八四三・〇
三二	八、一〇二・五	四三以上	一、二九〇・五
以上合計	五八、九八四・五		

△次には 在支既設紡績會社、對支發展を策しつゝある内地紡績會社及び支那に於て新に紡績會社を經營せんと欲する諸氏の研究熟慮を煩はし度きは『支那紡績會社の織布業兼營』問題であるが這是支那の家庭工業たる手織業の盛衰興亡と密接不離の關係を有するを以て先づ此手織業を説くを便宜とする。支那手織工業の旺盛にして普及せる世界何れの國と雖もこれに及ぶものなく尨然たる支那綿絲消費額の大部分が此手織業の織布原料に使用せらるゝの事實に想到せば蓋し思ひ半に過ぐるであらう。

△手機は 支那全國の津々浦々に普及して農家の殆ど總てが之を備へ閑散期に於ける農家の家庭工業乃至副業として重要な位置を占めてゐる。其中心地は上海を中心とする揚子江流域を始め北は天津南は廣東奥地にては漢口、沙市、九江等湖北省の諸地方並に湖南、山西、四川省等である。而して此手織業は重に家庭工業として行はれ手織物の大部分は個人の家庭に生産せられるのであるが、支那商人及び資産家にして五十機乃至三百機位の

△工場を 經營してゐるものも亦尠く無い。斯く手織業は支那全國に普及して其生産額は價額に於ても數量に於ても同種輸入品を凌駕し其製品は體裁技術の點に於て遠く輸入品乃至新式織布工場の製品に及ばざるも、耐久力ある點より地方民に歡迎せられ殊に自家用としての人氣侮るべからざるものがある。然らば是れと同種品の輸入乃至新式（動力によるもの）織布工場生産品は到底之を壓伏する事を得ず今日以上に發展し得ざる運命を有するのではあるまいか何うか

△綿布業 に多年の經驗を有する某有力支那商は云ふ、手織物原料として綿絲の需要莫大なる四川省は素より其他支那各地の有力者は地方民の輸入品購買を阻止しつゝ其手織工業を極力推奨してゐる。蓋し地方農民は力役乃至農事被傭人として稼げば一箇月僅か二弗（現今一弗は我が一圓位に相當す）内外の收入を得るに止まるに反し手織業に従事せば月八、九弗の收入を得其差實に六、七弗の多きに達するからである。六、七弗と云へば一寸僅かの如くであるが

△都會に 於ける苦力一箇月の食費四、五弗にして都會の附近は是れより三割安更に奥地に行げは一箇月二弗位に生活し得る支那人にとつては頗る附きの大金である。従つて地方民も亦手織業に従事する事を喜ぶ。のみならず外貨排斥國貨提倡の聲は全國に普く此等の手織物を呼ぶに『愛國布』を以てする状態であるから手織業はなかく衰へず同種品の輸入乃至新式織布工業は近き將來に於ては多大の望みを囑し難いであらうと

△吾人も 亦近き將來に於て此手織業の衰滅を豫期するものでは無いが而も十年乃至二十年前に本邦地方民間に歡迎された手織物が今や殆ど其影を沒せんとせる事實に鑒み更に支那交通

機關の漸次完備して農産物の市價を昂め益々有利なる事業乃至副業の増加しつゝあり従つて又地方民購買力の次第に高まりつゝある現狀に想到して支那手織業も亦結局日本の手織業同様の運命に遭逢するに非ざるをか思ふ者である。

△要するに支那手織業の將來は尙多くの疑問符を貽し早計に斷じ難き問題であるが、商權の擴張は一朝一夕に出來得べきものに非ざるのみならず製品の種類、性質、價格、支那人の嗜好等を研究斟酌すれば販路擴大の餘地十分なるべきを以て支那紡績業者は大局に眼を注ぎ織布業を兼營する事を有利と信ずるのである。支那紡績會社織機數の増加は正に其半面を語のものには非ざるが、敢て當業者の一考を煩はしたい。尙三、四年前

△是等の紡績會社の織機數は六、七千臺であつたが今や既設織機一萬四百二十五臺、計畫中の織機三千六百二十四臺に躍進してゐる。其内譯は支那人會社既設織機五千七百八十六臺、日本人會社同千九百八十六臺、英人會社同二千六百五十三臺で日本人會社は英、支人會社に比し非常の遜色がある。又計畫中の織機は何れも支那人會社の計畫に屬し日、英人會社には織機の増設計畫あるを知らない。これは支那綿絲需要の益旺盛に赴き織布業を顧みる餘地なきにもよるべけれど、計畫錘數の到達と共に支那紡績業の競争愈激甚ならんとする此際織布業を閑却するが如きは決して策の得たるものではあるまい。

△支那に於ける紡績會社が織布業を兼營するの必要にして且有利なるは前回所述の如くであるが、序に日本人、英國人及び支那人經營在支既設紡績會社にして織布を兼營するもの、社名、既設織機數、増設計畫中の織機數並に新設會社の計畫織機數とを掲げて參考に供する事とする。

日英人會社織機數

英人經營

邦人經營

怡和	東方	老茂	合計	上紡	內外	日華	合計
一、六五三	五〇〇	五〇〇	二、六五三	八八六	六〇〇	五〇〇	一、九八六

支那人會社織機數

社名	織機	計畫織機數
----	----	-------

恒豐	三五四	七〇〇
申裕	四〇〇	
鴻裕	二四〇	
淞益	二四〇	五〇〇
厚生	三九六	
三新	一、一〇六	
華豐	三〇〇	
慶寶	一一〇	二五〇
大綸	一一〇	一五〇
天成	一、〇〇〇	五〇〇
大生	三二〇	三〇〇
鼎新	六〇〇	三二〇
楚興	五〇〇	
漢口第一		
裕華		三〇〇
豫豐		二〇〇
恒源	一〇〇	二〇〇
成興(新設)		二〇四
合計	五、七八六	三、六二四

鐵木

對支發展を企畫しつゝある内地紡績會社の態度を見るに支那工場設置を以て動もすれば一支店、一出張店を開設する位の輕躁なる考へを以てこれに望みつゝあるは如何にも遺憾千萬である

△現在の 營業狀態、規模の大小を基本として論ずれば内地一流會社の支那工場設置は素より單純なる一支店一出張店の開設に過ぎまい、併し乍ら種々の意味に於て紡績會社の内地發展は行詰りつゝある、現在の狀態は紡績會社内地發展の或は最大限度ではあるまいかとさへ考へられないではない是れに反して支那紡績業發展の餘地は綽々として殆ど無限に非ざるかを疑ふ原棉供給の便宜、勞働の供給過剩綿絲布の需要旺盛等の事實に顧みれば自からがゝる結論に到達せざるを得ない。従つて支那工場は内地諸會社にとり重要さの程度に於て内地工場と

△同一の 立場に立ち或は支那工場が主にして内地工場を従とするが如き時代の到來するには非ざるかを想ふ。兎に角支那紡績は未だ千里の鵬程の第一步を踏み出せる許りにして前途は洋々として其果てを知らないものであるから社長重役等は自ら支那に渡航し支那に永住する位の度胸を以て奮闘すると共に頭腦明晰にして商道に長け堅忍と勇氣に富む有爲のマネジャーを派遣する事が必要であるこれと同時に大日本紡績の如き組織ある團體を作り支那關係事項を調査研究して其發展に資し併せて邦人同業者の團結を鞏固にする事が必要である。上海などに於ける

△當業者 の團結に就て觀るも一見頗る鞏固なるに以て其實一脈相通せざるものあるを否定し得ない。自國を離れて他國に在る者は其官に在ると私人たるを問はず等しく國家の代表者である。誇張して云へば其の一舉手一投足が直に國家の利害休戚

に直接間接の影響を及ぼす。ざれば單に個人の自制を強要すると云ふ見地より云ふも團結の力は偉大である。暗闘と猜疑、利己と反省、是等は海外在留人の最も慎むべき五戒の首めである又經濟的發展の基礎として周到綿密なる調査の必要なるは今更暇々する迄もあるまい。之を要するに

△支那の 問題は總て日本の問題にして二十世紀の問題は支那問題である、其支那問題中焦點となるべきものは經濟問題である古今未曾有の大戦に疲れて再起を懸念されし獨逸すら今や對支發展に腐心しつゝ戦前の雄飛を夢み英、米、佛、露、埃、伊等亦虎視眈々對支發展の機會を窺ひつゝある殊に對支發展上日本の強敵たる米國は戰時中に獲得せる財政的霸權と其特性たる猪突の勇を揮つて何時如何なる事を仕出來すか解らない。之に對する日本の武器は支那に於て一日も早く經濟的足場を固めると云ふ事である。此意味に於て吾人は本邦對支經濟發展の先驅にして最も有力なる殆ど唯一の對支企業とも稱すべき紡績業者諸君の奮勵努力を要望してやまないのである。(完)

貿易

青島貿易概況 (四月)

本月中の埠頭陸揚貨物(輸入)は三萬三千八十九噸五を算し前月に比し幾分の増加を現はせるも船積(輸出)は六萬九千三百九十三噸二にして一萬一千餘噸の減退を示し更に之を昨年同期に比するに陸揚に於て四千七百九十噸を減せるも船積は却て千四百八十四噸の増加を現はせり此原因とも見るべきは昨年銀價

の高調により輸入を有利に誘ひたる爲めにして前月に比し輸出の減退せるは石炭及鐵礦の積出激減に基因せり

三月		四月		昨年四月		昨年と本年との比較	
陸揚貨物	三、四八三	三、〇九五	三、八八九	△	四、九〇四		
船積貨物	六、八四二	六、九三二	六、七九六	〇	一、四八四		
計	一〇、三二五	一〇、四二七	一〇、五八五	△	三、〇五八		

尙其仕出仕向地別を見るに大阪仕向貨は鶏卵、桐材、の好況と礦石の新仕向により七千三百九十六噸を神戸は剝實、鶏卵の仕向により七千六百五十八噸を示し近來の記録を造りたるが横濱も石炭、コークス、鶏卵の仕向により七千一噸を算せり八幡は鐵礦の積出を見ず其他日本各地は多少の減退を現はせしが釜山は鹽の積出しにより四千八噸三の仕向けを見たり上海仕向の主なるものは淄博兩炭の五千六百九十噸其他石炭の千八十噸を除けば剝實九百五十二噸葉煙草六百七十噸位のものにして其他は云ふに足らず上海向九千六十五噸中の七十四%は石炭の移出により其他廣東へ花生實四千九百四十五噸花生油二千三百九十九噸を輸出し香港に原鹽八千八百噸花生油千九百四十四噸を輸出せるは重要物產の日本輸出不振の今日注目に値すべし(單位噸)

仕出、仕向地		本年 四 月 中		昨年 四 月 中	
大 阪	船 積	七、三六八	陸 揚	四、二七六	三、四九三
神 戸	船 積	七、六五八	陸 揚	二、四七七	三、七三二
門 司	船 積	二、〇八二	陸 揚	七、五〇	五、九二四
横 濱	船 積	七、〇〇九	陸 揚	一、三九	二、九三二
德 山	船 積	一、〇〇〇	陸 揚	六、五〇	六、六〇〇
若 松	船 積	—	陸 揚	—	—
八 幡	船 積	—	陸 揚	—	二、九〇〇
其他 日本	船 積	二、二五四	陸 揚	二、二一〇	七、〇八〇
				四、三九二	

仁 川	釜 山	元 山	基 隆	大 連	上 海	芝 罘	天 津	其他支那港	香 港	浦 鹽	マ ニ ラ	其他 外國
一〇、五五三	四、〇八三	八、〇〇〇	八、九	二、四九九	九、〇六六	一〇、八〇	一、三二	一〇、六七四	一〇、八七〇	九、〇七	—	一、六九八
八、〇九	—	—	一、五〇	一、三〇六	一〇、三三九	三、三八	五、三七	四、四六五	三、四〇六	六、〇一八	—	一、六九七
七、六〇	一、九〇〇	二、四三四	三、八一五	二、一九八二	一、八三六〇	三、六二三	一、三二〇	三、四六三	七、五五	—	—	二、七五
二、四九九	—	—	〇、四	一、六七七九	八、三七六	二、九八三	二、一〇七三	二、八二八	一、八五六	八、七二	七、〇	六、四六五
												三、七九
												三、七九

主要輸出入貨物情勢 (四月)

當港輸入の大宗貨物たる綿絲は往年日貨排斥以來需要激減爾來數年に互り毫も好化の模様無く恰かも暗雲に閉されたる感ありしが一般東洋市場の好化と奧地春作良好見越により久敷沈黙せる濟南、周村、濰縣等大需要地の出動を見人氣著しく良好となり其他砂糖、電氣材料、米等も共に輸入の増加を示せしが隣寸は奧地市況の不味と銀安の關係上相場不出合姿となり砂糖も同じく日本物の引合杜絶し木材は間々米方面より大口物の輸入を呼べるも建築界の不況は依然として邦人木材商の手持品は容易に消化せらるゝの模様無く日本方面よりの輸入當分見込無き狀態に在り前年に比し夥しき減退を現はせり、輸出貨物は相變らず牛肉、鶏卵、桐材の本邦輸出旺盛により活氣を呈し鹽は年度變りと共に政府納鹽の積出しを見たと浦鹽、香港方面への仕

向荷十萬餘擔を加へて漸く愁眉を開き花生仁も米國方面への積出しにより久方振りに二十一萬餘擔の輸出を見しが花生油は割合に好化せずして本月中僅かに三萬六千餘擔の輸出を見しに止まり獸骨亦不況を持續せり

△輸入外國品

品名	單位	四月中	昨年 四月中	昨年と本年 との比較
生金	正	九九六六	二六六〇	△ 一七〇四
シーチング(米品)	同	一、八八〇	三〇〇	八八〇
同(英品)	同	二、五〇〇	一九〇	二、三〇〇
同(日本品)	同	二六、〇〇五	八、五七六	一七、七六六
晒金	同	三、九九五	三、八八四	一〇、七七一
シェーン(米品)	同	—	—	—
同(英品)	同	三三〇	一六〇	七〇
同(日本品)	同	二、三〇〇	八〇四六	△ 五、七六六
天竺布 三十二吋	同	九、八八九	四、六六〇	五、二二九
同(日本品)	同	二八、三三三	四、五五〇	△ 一五、三三八
緋金布及綿天竺布	同	八、〇〇〇	二、九六九	△ 三、八六四
綿糸(印度)	同	一、三三三	二、七〇〇	△ 九一九
同(日本)	同	二、六四〇	一、四〇四	一、二三六
麻袋	同	五、七四一	二、六三三	三、〇八九
紙卷煙草	千本	二、〇九〇	一、七九〇	△ 一五、八九〇
同(日本品)	同	—	三、九七四	△ 三、九七四
電氣材料	海關兩	一七、五九	五、七三	一、五五六
燐寸(黃燐)	哥	六、七〇〇	八、八五〇	△ 二〇、八〇〇
疊及吳蔴	枚	五、〇三二	四、四四五	八五六
石油(米品裸)	ガロン	二、二二三三	一、八九〇、九七	△ 七、六八四
同(スマトラ)	同	五、〇〇〇	—	五、〇〇〇
米	擔	一五、五九九	一、九三	三、一九七
砂糖(赤)	同	二、三〇五	三、九五	九、〇四〇
同(白)	同	一、三三三	七、八	六、七

△輸入支那品

△輸出品

品名	單位	本年	昨年	比較
同(精製)	同	三、〇四六	四、八四〇	七、〇三八
木材(堅)	立方呎	九、六三三	七、八六六	三、七六七
同(軟)	同	八、七四〇、九七	二、〇一、三六	△ 一、四三七七
シーチング	正	一、三八一〇	九、八〇〇	四、〇一〇
綿絲	擔	四、九八三	四、三七三	六〇
米	同	一、八五四	一、八八一	三七
紙卷煙草	同	三、六四七	三、三六〇	二八七
上等紙	同	九八三	一、三三五	二七五
次等紙	同	五、四三	六、八六六	△ 一、四七三
砂糖(白)	同	四、七	—	四、七
同(赤)	同	一、八	—	一、八
生牛	頭	三、六	三、四六	△ 一、一〇
豆	擔	四、七三八	二、八八六	△ 一、七二〇
牛	クオーター	一、三〇六三	七、八四五	△ 五、二一八
山	噸	四、四〇五	二、七六五	△ 八、三六〇
雞	千個	一、九六九三	五、二七五	一、四四八
花	擔	四、九五九六	二、〇四九	四、七五七
花生	同	二、〇五五五	一〇、二八九三	一〇、七六四二
花	同	三、六一八五	四、一四五二	△ 五、三六六
牛	同	三、一一一	二、一九六	九一五
桐	噸	一、九三七	一、五五六	三七二
葉煙	同	九三二	六、九八〇	△ 六、〇四九
原	同	二、七〇七三	一、五、一三三	一、一九六四五
牛	同	四、一一一	六、六三	△ 二、五二二

民船貿易 (四月)

民船貿易は前月來引續盛況を呈しつゝあるが移入品に在りては小麦、高粱、玉蜀黍、豆類等は奥地需要衰へずして益活況を

示し豆粕は施肥期の關係上五千九百二十六擔を移入し鶏卵は日本輸出の旺盛に従ひ本月中三百餘萬個の移入を見しが花生仁は再び移入不利を迎へて半減し同油も依然不振の狀況を續けたる外麥粉、米、支那紙、竹稈等の減退を見木材も亦建築界の不況に伸力を殺かれたるが如し移出貨は一盛一衰の姿にして時期の關係上鮮菜の皆無となりたるは稍注目し値すべく花生及花生油は輸出の不振により却て移出力を増し生油一萬二千二百八十七擔の移出を見たり港内輸送品中鶏卵の激増は前述の如くなるも鹽は春鹽出廻時期にも拘はらず埠頭滯貨夥多の爲商況引立たず僅かに一萬一千九百三十九擔の輸送を見しに過ぎず

△移入品

品目	三月中	四月中	品目	三月中	四月中
竹	一〇二七六本	六四〇〇本	花生仁	八、四三三	四三、四二
豆	三五九	五九六	各種蓆	一九七枚	二〇〇枚
白黃豆	一〇八一	四六五	花生油	一八九〇	一三六七
高粱	二八八五	二四七三	米	二六三三	二一四
玉蜀黍	三〇七三三	四三三九七	麥	五五二九	六二
小麥	三六〇三	三六五二	雜木	二九七九	六九二
鷄卵	一三七百個	八七四百個	木稈	四四四本	七四四本
棉花	二九二	二六七六	支那紙三等品	八八四〇	四三三〇

△移出品

品目	三月中	四月中	品目	三月中	四月中
石炭	一四〇七噸	一七三噸	石灰	二六六七	三三二〇
落花生	五九	一五三	各種蓆	一五〇〇枚	八〇枚
鍋	一四三	一九一	花生油	六、二二	二二六七
核桃	一八六	一〇七〇	豆油	一、四四〇	四六九
鮮菜	三三三				

△港内運輸

品目	三月中	四月中
白黃豆	四九	一、二二
各種蓆	二六〇二	四四〇〇

粟	一三五	一、四九	花生油	三七一	五、一九四
石炭	一、九八噸	一、四三噸	鹽	一五、四四	二、九元
鷄卵	一七、二〇百個	三、三四百個	鮮菜	四六五	二、〇七六
落花生	四八六	一、五九	雜木	九三三	一、五四二
花生仁	四九六	四三六	木材(軟)	一九六	

海運及鐵道

青島港出入船舶 (四月)

本月中の入港船舶(汽船)は八十九隻此登簿噸數十萬八千三百九噸にして出港八十六隻十萬三千四百九十一噸卸荷三萬三千八十九噸五積荷六萬九千三百九十三噸二を算せり之を前月に比すれば出港船舶に於て十四隻七千餘噸の減退を示せるが之は鐵礦積取船の廻航中絶せる爲めにして更に之を去年同期に比較するも尙二十五隻一萬二千八百餘噸の減退を現はせり入港船舶は去年同期の百三隻に對し十四隻の減退なるも噸數は却て四千七百餘噸を増加せるは海運界不況により英米大型船の配船増加と日本近海に大型船の割込みを見たるによる

月	出港汽船		入港汽船	
	隻數	登簿噸數	隻數	登簿噸數
三月中	100	111,717	100	107,593
四月中	86	103,521	96	108,309
昨年四月中	111	116,111	103	103,997
比較	△ 三七	△ 二八〇〇	△ 一四	〇 四七二
三月	積荷		卸荷	
	八、八六二	三、四六三	三、四六三	二、三三二
四月	積荷		卸荷	
	六、九三三	三、〇六五	三、〇六五	二、四八七
昨年四月	六、七〇六	三、七九六	三、七九六	二、六八五
合計(單位噸)				

比 較 ○ 一、四六六 △ 四、七〇四 △ 三、〇六六
次に入港船舶の仕出地に就て見るに日本十四隻仁川三隻基隆二隻大連十二隻上海三十八隻芝罘一隻天津三隻海州七隻其の他支那港三隻香港二隻浦鹽三隻マニラ一隻にして出港船舶の仕向地は日本十八隻仁川、釜山各三隻大連十九隻上海十八隻天津三隻海州七隻其の他支那港五隻香港三隻浦鹽六隻其他外國一隻なりとす

内地近海運賃近況

近海運賃は春の荷動期に入りて兎に角船腹を消化し大型船の需要不良に反し小型備船料は比較的保合居たるが大連豆粕は略一掃の姿となり石炭の移動も活潑ならず一體に出荷激減の狀態にして再び目先の軟弱を呼べり最近成立の天海丸は唐若積江尻濱一圓九十五錢(三菱)と十錢方下向を見せ獨り北海木材は積取期節に入りて北見、天鹽積熱田兵阪揚げ丸太百九十圓乃至二百圓角材百二十圓見當(濱揚丸太十圓引角材二十四圓引)の氣配にて相當引合荷あり神明丸も北見天鹽六月積熱田揚げ丸太百九十五圓角材百十八圓(野村)の成約を見たり尙勘察加方面は船腹消化の見込あれども曩にチタ政府より勞農政府に譲り渡し後漁區入札さへ未だ有耶無耶になり居る有様なれば例令我海軍の護衛ありとするも新漁區の出漁は絶對不可能なるべく餘り多くを期待せられざる模様なり最近の運賃成約を示せば左の如し

繪島丸	石炭	一、二五〇噸	唐一伊勢	二、二〇〇	三菱
喜勢丸	同	一、二五〇	伊萬里一舞鶴	一、七〇〇	中村組
弓張丸	同	一、四〇〇	博多一芝浦	二、五〇〇	一
射水丸	豆粕	二四、〇〇〇擔	營口一三角	〇、二三	後藤
大得丸	同	二四、〇〇〇	薪島一博多	〇、一九	松茂

東和丸	雜貨	青島一	門司阪神	一三、五〇〇、〇〇〇	三井
攝海丸	其他	濱三港			
三眞盛	穀類	郡山一大阪		二、六〇〇、〇〇〇	三輪
三福井	材木	國後一芝浦		七、七〇〇、〇〇〇	一
	礦石	一、二〇〇噸	蕪湖一若松	二、一〇〇	巴組

山東同盟汽船就航

久敷問題となり居たる山東同盟汽船會社は諸般の計畫成り最近シンピルスク號及嘉代丸の二船を備船青島、内地航路に配船愈々六月六日を以て其初航を開始するの運に至れり

三驛發著主要貨物情勢 (五月)

本月中の青島三驛發著貨物を見るに發送二萬九千八十四噸六到著四萬五千八百七十三噸七を算し前月に比すれば發送七千八百八十四噸到著一萬三千七百十四噸四の増加を示し更に昨年同期に比すれば發送一萬五千六百九十二噸九到著二萬三千八百七十九噸一の激増を來し別表の如く各貨の上に著しき好況を見るに至れり之を各貨の上に就て小言すれば高粱、小麥、穀類の各食料品は奥地饑饉地方に仕向けらるゝもの依然衰へず一般農民も春作の良好に活氣付き購買力も著しく恢復を示し諸貨の上に買進み來りたるが殊に綿絲布は久敷排日の爲終熄せし濟南濰縣周村地方大需要地の出動を促し其他煙草、雜貨、砂糖等も端午節手當として相當需要を喚起するに至れり到着貨物に在りては輸出の大宗なる花生實は歐洲方面の買氣に浮立ちて本月中五千九百三十四噸の著荷を見同油も稍好化し二千四百四噸七を算せしが歐米方面の事情は未だ油に對する好況を誘ふに至らず僅かに廣東幫の手により香港、廣東方面に輸出せらるゝの狀態に在り鶏卵は本邦輸出の盛況を迎へて濟南玉の出廻り旺盛となり本月

中著荷千五百三十五噸の中千二百四十三噸の著荷を見たり桐材は本月日本市場の不況を入れて出廻り稍澁りたるも尙千二百八十一噸の到著あり生牛亦三千二十九頭に上りしが葉煙草、獸骨は時季の關係上米は產地の出境禁止に脅かされて減退を示せしが發送貨物に在りては石油、燐寸、魚類等の僅かに減少を見たるに過ぎず (單位噸生牛は頭)

△發送貨物

品名	四月中	五月中	昨年五月	本年と昨年の比較
發送貨物	三,一〇〇八	二九,〇八六	一三,三九一七	〇 一五,六九六元
到著貨物	三,一五九三	四,八七五七	二,九四四六	〇 二,八九九一
生牛到著數	四二八	三〇九	一九三	〇 一〇七

△到著貨物

品名	四月中	五月中	昨年五月	本年と昨年の比較
木 材	一,二二五	二,六六五	八九五	〇 一,八七〇
鐵板及鐵製品	二,八三八	六二六	二八〇七	〇 三,四〇九
高 梁	一,九四八	二,四〇五	七三六〇	〇 一,四八二
小 麥	九三三	一,六三二	一四七一	〇 一,八八二
穀 類	三,八四七	六,四九五	五,三九八	〇 五,八九七
支 那 紙	三,二一〇	二,四七五	二九八一	△ 五〇六
棉 花 布	二,二八三	五,二五五	二,七二四	〇 二,四四一
綿 絲	三,六七一	三,八〇一	一,四三三	〇 二,三六六
石 油	一,五五七	一,六〇一	九〇七五	〇 三,五二六
砂 糖	一,四三三	一,七三五	一,三九三	△ 五五八
煙 草	七六二〇	六,八五三	五,三三七	〇 一,五九六
魚 類	三,〇六六	三,四七四	二,六八〇	〇 一,二三四
燐 寸	六九二	一,五九二	二,一八四七	△ 五九二〇
雜 貨	二,四三九	三,五四二	三,七六三	△ 三三一
麻袋布袋	一,一〇八	一,一〇〇	六〇三	〇 六六九
麻袋布袋	一,七二五	一,八七五	一,五七六	〇 四九九

品名	線越	受荷	出庫	月末在庫
石 炭	一,九四三〇	二,五三三七	五,七五六	〇 一,九八七一
コークス	二,〇〇一	一,七二三	—	〇 一,七二三
桐 材	二,二八三	一,二八六	一,三三七	〇 五九
米	二,五八七	三,七四	七,六三七	△ 四,三三
落花生實	四,六六五	五,九四七	二,五九三	〇 三,三五四
落花生油	一,五二四	二,四〇七	三,四七六〇	△ 一,〇七三
鷄 卵	三,七四〇	三,五八七	一,九五〇	〇 三,三三七
牛 皮	一〇七六	九八	三三七	〇 二五一
葉 煙 草	四,六七	一,九七	九七三〇	△ 八,六三三
獸 骨	二,〇四七	一〇七	三,六〇〇	△ 一,七三
生 牛	四,三八頭	三,〇九頭	一,九三頭	〇 一,〇七頭

埠頭營業倉庫業況 (四月)

本月中埠頭倉庫寄託貨物を見るに剝實百七十四噸九葉煙草二百八十五噸二を主なるものとし燐寸五十二噸五綿絲三十五噸六其他合計五百八十五噸五此價格十萬二千五百八十三銀元を見たるが出庫は剝實四十三噸七葉煙草三百六噸七綿絲二十九噸五綿布十一噸二金屬製品十八噸三其他合計四百五十七噸六價格十萬三千二百六十四元五十錢を算し月末在庫千六百七十九噸二十六萬七千九百九十七元九十錢となれり (單位噸)

品名	線越	受荷	出庫	月末在庫
花 生 實	一,〇三三	一,七四九	四,三三七	二,六五
葉 煙 草	三,〇六七	二,八三三	三,〇六七	二,八五二
牛 皮	二〇八	—	—	二〇八
機 械	一四	一四	一四	一四
牛 油	—	—	—	—
綿 絲	—	—	—	—
綿 布	三六六	三五六	二九五	六二
麻 袋	三六	七六	二二三	三五〇
麻 袋	三三	一五三	二八〇	二六六

石炭	三〇七	一	三〇七
煉瓦	二三四	一	二三四
鐵瓦	一七六	一	一七六
金屬製品	六二八	三〇	四六五
機械類	三三四	一	三〇一
機寸	四二六	三三	四六五
櫛根	四二〇	三三	四六五
屋料	九二	一	八三
食料	三八	一	三三
其他	一五五	一	一五五
計	六五五	四七〇	一、一三五〇

内外經濟要報

大連關稅改正と關東廳の新財源

關東廳の財政窮乏は本年度に於て其極度に達し剩へ政府の補助金減額となり新則計畫は勿論諸般の既設事業の改善を爲す能はざる窮境に陥つた半面新財源の捻出亦容易でないで茲に多年の懸案であつた大連港の自由港撤廢を實現す可く既に具體的調査を完了した模様である勿論愈實施す可きか否かは對支協調並に政府との諒解を得る必要上速急に行ふ能はざる事情があるが關東廳が是を執行するにせば民間並に滿鐵(特に埠頭)方面より多大の反對ある可く觀測されて居る左に本件の經過並に可否兩論の概要を掲げて讀者の批判材料とする

一、問題の經過 現在の關東州關稅制度は千九百十七年(明治四十年)五月北京に於て林公使と支那總稅務司との間に締結された「大連海關設置に關する協定に」基くもので將來改正の自由を保留してあつた、然るに青島に於る自由港區域制限實

施の一影響として時の總稅務司アグレン氏は關東州關稅協定改定に關し時の駐支公使伊集院氏並に内田外相と次の如き交渉を開始した即ち千九百五年の青島關稅制度改正に倣い大連港の一小部を自由港區域とし其他關東州全部を奧地同様有稅地とし其代償として關東州にて消費する、貨物に相當する金額を關東廳に納付する事にしたが當地關東廳(殊に殖産課)の反對す所となり支那政府亦熱心ならず林男が關東長官として赴任以來最初の關稅協定締結の責任者たる丈け稍や再燃の模様であつたが遂に實現されないで本日に至つた

阿片專賣廢止以來の關東廳は年額約三百萬圓の財源を失ひし一面其歲出は遞信費、事業費、警察費等に於て累年著しき増加を見るに至つたが、中央政府よりの補充金は現在の四百萬圓より更に増加せしむるが如きは植民地財政獨立の理想より愈遠ざるを以て茲に三度大連關稅拂戻し問題が擡頭した次第である今關東州の海港經由純輸入額(總輸入額より再輸出を控除したものの)一億五百七十三萬六千兩に對し假に改正論者の三割五分を課すとして約百八十萬乃至二百萬兩の新財源を穫る事となる

二、改正利益點 大連關稅協定改正論は關東廳囑託野波靜雄氏の唱導する所であつて其利益とする處は

1、脫稅及密輸入の防壓

阿片、モルヒネ、コカイン並に武器の密輸防止策として自由區域を大連港の一角に限定する事

2、稅關障壁の除去

關東州と支那との國境にある稅關あるが爲め州内外の商工業の接觸を阻隔し滿蒙の自由なる發達を妨ぐるものを除去すると云ふに在る

3、日支兩國の收入増加

即ち純輸入總額を假に二億萬圓として内奥地行一億三千萬圓とし州内殘留品金額七千萬圓より鐵道用品の免稅品及米の如き無稅品を除き改正の結果二百萬圓(三割五分として)内外は我國庫に拂ひ戻さる

其他稅關改正に依る支那側經費の節約等を利益點として掲げて居る

前段關稅改正の利益點は其第一項脫稅密輸入の防壓の外殆ど利益と云ふに足らないのみならず關東廳が僅々百五萬乃至二百萬圓の新財源を得る爲に次に示すが如き自由港相續の利益を犠牲にせんとするは極めて妄策なりと云ふ非難を免るゝ事は出來ない

三、改正否定論 關東廳拓殖局の一部を除き邦人側の殆ど全部が制度改正に反對し先づ曩に關稅制度の改正を實行したる青島とを比較して(イ)人口面積の廣狹よりして改正後の大連の影響大なる事(ロ)大連は西方直隸山東の諸港を控へ東方黃海沿岸諸港を擁し且つ仁川鎮南浦、木浦、群山、上海、青島其他南阿とも往來頻繁にて中繼港として青島より價值大なる事(ハ)租借地の境界線に於ても近距離であつて大連の方監視に便なる事(ニ)青島埠頭には大規模の官設倉庫あり十日間の無料保管期あるも大連埠頭倉庫は全部滿鐵會社の所有であつて荷揚後無料保管期日は四日間に過ぎないので大連商人は一應其貨物を私有倉庫に引取らねばならぬ事(ホ)將來に於ける人口増加率大連が大なる事等を擧ぐる事が出来る

四、改正不利利益點 利益範圍の侵害、租借地に支那海關の行政權を延長せしむるが如きは折角多大の犠牲を拂つて獲得した

る我特殊權利の一部分を拋棄する所以であつて僅少の拂戻しと交換するが如きは取らざる所である

五、中繼貿易の侵害 大連が中繼貿易港として景勝の地位を有するは何人も認むる所であつて千九百七年に於て總輸入額一千八十六萬兩(海關兩)に對して再輸出額は二十五萬兩に過ぎなかつたものが逐年激増して千九百十八年には總輸入額九千七百四十五萬兩に對し再輸出額千五百七十九萬兩に激増し千九百十九年には總輸入額一億二千七百三十七萬兩に對し再輸出額二千六百六十四萬兩を示して居る是素より關東州が無稅地であるから商人は一旦州内に輸入したる貨物も相場の變動に従ひ州内にて處分するよりも外國或は日本内地に仕向くるを有利とする場合には戻稅の不便及輸入當日より再輸出當日に至る間の關稅に對する金利の損失を蒙ることなく他に轉送するを得るが爲めである

六、物價を騰貴せしむ 關稅の轉嫁に依り州内の一般物價を騰貴せしむる白明の理である青島の例に就て見るに改正後同地の物價は一割の騰貴を來して居るさなきだに東洋一の物價騰貴大連に於て現在以上の物價騰貴の原因を構成する時は結局移民招來の阻害となり青島の如き退嬰的殖民地となるの恐れがある

七、州内商業の發達阻害 物價騰貴の結果必需品の課稅は之を消費者に轉嫁するを得るけれ共煙草洋酒時計其他の嗜好品奢侈品類は需要減退し商人の打撃が大となる加之從來無稅であつた爲め奥地より關東州に入る支那貨物に對し強者の地位に在りし日本貨物の失脚を來す

如上大連關稅撤廢に關する可否の兩論に就て仔細なる解剖を

試みる時は自由港を撤廢して新財源を得んとする關東廳一部的見解の是非を判斷する事が出来る左に讀者の參考一資料として大連自由港區域設計並に關東廳の財政上よりの見解を示す

八、大連自由港區域 現在青島の免稅區域は埠頭造船所有地防波堤を含む大港及山東鐵道本線の築堤を包括する一帯にして新制度實施後不便を感じる場合には免稅區域を改變擴張することを得ることとせり、自由區域には倉庫及埠頭取締者港務員海關吏員等の住宅、支那苦力に對する飲食店に限り存在を許し工場も原則として免稅區域内に設置するを得大連も筆を青島に取り現在の埠頭一帯より防波堤に至る間に限る計畫なるが如し茲に埠頭一圓の自由區域限定を困難ならしむる問題あり第一埠頭附近は軍用地區として一朝有事の際に緊要の地域なれば之を免稅區域に繰込み倉庫工場役員住宅を建設することは果して當局の容るる所となるや否や疑問なりと云はざるべからず次に仲繼貿易の利便を阻害せざんとする中和手段としての免稅區域は如上の計畫にては餘りに狹小に失し州内の商人は自由に私有倉庫に商品を藏置し或は商品に加工するを得ずさればとて免稅區域に完全なる上屋、倉庫加工場を整頓するには巨額の費用を要し實現困難也之を青島の例に徴するに現在の大港を圍繞せる自由區域にては工場、船渠、倉庫等の設備に不便を感じる點尠からず識者間に膠州租借地海關規則第五條「將來必要あれば何時にも自由區域を擴張するものとす」との保留條項に據り同地小港を包括する地點迄擴張せんと議旺なり擴張の程度大ならんには關稅取締上不便を生じ自由地帶の減縮した趣旨を没却するに至るべし

九、自由港と關東廳財政 今我植民地の財政狀態を通覽するに財政的獨立の最も早かつたのは臺灣で明治三十年代から特別會計を創始し明治三十八年度には全く一般會計からの補助を受けず明治四十二年度からは臺灣關稅及砂糖消費稅の一半を一般會計に繰入るるに至つた次に朝鮮は明治四十三年十月から特別會計を設定し大正七年度には一般會計からの補助金は關東州に對する補助金と等しく年三百萬圓に減少した(但し朝鮮總督府は大正九年憲兵廢止等のため本年の臨時議會に補充金一千萬圓の追加豫算を提出した)然し關東州は明治四十年に特別會計の設定以來一般會計からの補充金は年々二百萬乃至三百萬圓で臺灣朝鮮に反し却て膨脹の狀態にある而も關東州が我租借地となつてから既に十三ヶ年餘の星霜を経たに拘らず一般會計からの補充金は特別會計創設以來大正五年度に至る十ヶ年の總額二千八百萬七千八百圓を算し我植民地中財政自然の進歩最も遅々たるものであるは否む事は出来ない之拓殖局及關東廳の一部に關東州關稅賦課論者ある所以て其所論には此他にも幾多諒すべき根底があらう近時植民地の財政に關する學說並に政策の傾向が(植民地は本國の財源なり)との觀念から(植民地は貢納金等の直接利益を本國に與へないが間接に本國を援助するを以て足る)との主張に轉したの歐洲各國植民地施政の實驗から生じた結論である

只求むる所は植民地をして自己の支出は自己の收入を以て充當しやうとするものである是も植民政策の理想ではから植民地の經濟生活を充實し間接に本國の海運を利し過剩人民の向上を計り商品の販路を拓き原料の供給を確保するに如くはな

い殊に我關東租借地の如きは經濟以外に帝國にとり重大なる

使命を負ふものであるから徒に財政自立を急促して租借地の經濟生活を貧弱ならしむるは帝國百年の長計でない等しく則政自立を云々するも植民地に依り天富、交通上の位置氣候地積に於て各々差別がある關東州は到底臺灣に比す可くもない今此節を終るに當つて關東廳が支那政府から拂戻を受けんとする年額の算出歩合を附記すると

江原稅關長の談に因ると州内貨物消費額を全輸入貨物の三割と見るは稍過大の感がある相であるが野波關東廳囑託は青島關稅代償歩合算出法に因り大正六年度の關東廳への代償金額假定は一、四八一、六三八圓なれば之を同年度の奧地行貨物關稅實收額に加へたる四、三二四、一六四圓（即ち假定輸入關稅總額）との比をとれば三四パーセント餘となる之關東廳の取得すべき代償歩合であるとして三割五分説を固持して居る青島の場合にも此代償歩合の點に就ては最も議論のあつた所と言へば州内人口及住民富の程度等を斟酌して決定せらるべく今假りに海關長の説に従ひ三割の所にて計算すれば大正八年度の大連關稅收入總額四百五十萬兩より再輸出品に對する關稅二百五十萬兩を控除したる大連海關の手取關稅二百萬兩其代償歩合三割は六十萬兩にして之を我通貨に換算すれば約百四十萬圓を得即ち制度改正の經濟的利益は百四十萬乃至二百萬圓である（滿洲日日新聞所載）

米國緊急關稅法の影響

成立に至る經過緊急關稅法案は昨年前議會に於て加奈陀南米の輸出に對しても本國農產物保護の目的を以てフオドニー法案として提出せられ上下兩院を通過したるもウイルソン前大統領は

之が裁可を拒否せる爲不成立に終れり然るに本年四月十一日より開會の臨時議會に再び提出せられ下院に於ては前法案の有効期間十箇月とありしを六箇月に短縮シダンピング防止及び從價稅賦課條項を附加し之を通過したり然るに上院財政委員會は下院通過案のダンピング防止及び從價稅賦課規程に關し國內に於て反對あるに鑒み審議の結果右規定に對し修正を加へ且染料及び特定化學工業品の輸入制限條項を附加し上院は五月十一日右修正案を通過したり

茲に於て右修正案は直に兩院協議會に回附せられたるが協議會にては上院を通過せる案中染料及化學工業品の輸入制限期間六箇月とあるを三箇月に局限せる外上院修正案を殆ど其の儘採用したり

上下兩院に於ては右協議會の修正案を承認し大統領は五月二十七日之を裁可し五月二十八日より實施せらるゝこととなれり

同法の内容

一、引上稅率（本邦輸出品に對し關係ある分）

品目	從來の稅率	改正稅率
精品米	一封度一仙	同二仙
精米	同八分五仙	同八仙
糙米	同八分三仙三	同四分三仙
落花生	皮を去らざるもの八 同分の三皮を去りたる もの四分の三	三仙
椰子油	無	一ガロン二〇仙
大豆油	無	同二〇仙

棉子油	無	同	二〇仙
落花生油	一ガロン 六仙	同	二六仙
豆類 (Beans)	六十封度二十五仙	一封度 二	仙
特種上等綿織物	從價七、二分の一 より三〇%まで	從來の税の外更に一 封度に付七仙増加	一仙

(註) 特種上等綿織物は纖維の長さ一時八分の三以上の棉花を以て製せられたるものにして右棉花の製品價格の主要部を占むるもの

二、附加條項

イ、ダンピング防止に關する規定

大藏大臣が外國商品のダンピングが行はれ居り又は行はれんとするの危險あり米國業に有害なる影響を及ぼすものと認めたるときは該商品の輸入に際しダンピング防止關係として輸入國に於て輸出國の市價(市價なるとは生産費)より輸出價格を控除せる科料を徴收す

ロ、從價税賦課に關する規定

一、從價税の賦課は商品の通常の輸出價格と輸出國に於ける市價との内其の大なるものに依る

二、大藏大臣は年四回外國貨幣の換算率を公告す關税の徵收に當り外國貨幣を内國貨幣に換算する必要があるときは右公告率に依る但し右公告率と輸出當日紐育に於ける換算相場との差が五分を超ゆるときは後者に依る(現行法に依れば實際の換算相場が公告率と異なることを證明するには輸出國に駐在する米國領事の證明を必要とす)

ハ、染料及び特定化學工業品の輸入制限

三箇月間 Sodium-nitrite 染料、ニールタール製品 Synthetic or faic-chem cais の輸入を禁ず但し國內消費實際の必要に基き

大藏大臣の許可を経たるものは此限に非ず(本規定の目的は平和宣言の成立に依り戰時通商局消滅すべきに依り同局が現に行ひ居る此等の染料及化學工業品に對する輸入制限を一般關稅改正成立の時まで大藏大臣に依り繼續せんとするに在り)

尙本法は五月二十八日より向ふ六箇月間効力を有するものとす
本邦影響如何 米國緊急關稅法に基く關稅の引上に依り本邦對米輸出品中重なる關係を有するものは豆類 (Beans) 落花生、落花生油、棉子油及椰子油等にして此等は歐洲戰開始以來著しく其の對米輸出額を増加し大正七年には最も盛況を極め殊に各植物油に關しては原料を關東州支那及南洋方面より輸入し來り假置場にて製油の上輸出せるもの相當巨額に上りたるを以て米國の貿易統計に依れば夫等諸品の米國の輸入は大部分本邦より輸入せらるゝの狀況を呈せり然るに休戰後は米國品の歐洲輸出減少に伴ひ漸次其の輸出を減少せるも尙大正九年迄は相當の輸出を見たりしが本年に入りては米國農產物の豐作に依る國內在荷の豊富と財界不況の爲取引の引合少く輸出殆ど杜絶の姿にして製油業の如き昨年末來は作業休止の狀態なり最近の米國への輸出は斯の如く不振を極むる狀況なりしを以て豆類内地生産者の中には其の作付を減じて小豆其他の内地向作物を栽培し落花生の如きは價格下落の爲内地消費増加し國內に於て相當賣行を見又製油業者も歐洲及阿弗利加方面に弗々輸出を試み其の販路の開拓に努め居る狀態にして國內在荷も左程大ならざるが如し斯の如く米國向輸出は現在に於て既に杜絶に近き狀況なるを以て今回緊急關稅法の實施を見るも之が爲め以上諸品の對米輸出は此の際更に減少することなかるべく且當業者も已に相當の

措置を夫々講じ居る状態なるを以て同法の通過は差當り新なる著るしき影響を來さざるべしと思料せらる尤も同緊急關稅法は單に六箇月の効力を有するのみなるが永久にかゝる重稅を課すべきや否や米國今後の態度に注目を要すべく尙船腹の豊富、運賃の低廉、製造工場及輸出貿易機關の完備及勞銀の低廉等の爲原料產地との直接取引次第に多からんとする傾向あるを以て本邦に於て外國原料を以て製油せる植物油の對米輸出は關稅の引上なくも今後多少の減少を免れざるは注意を要す今非常稅關法に依り影響を受くる主なる本邦輸出品の最近の輸出額を見るに左の如し

品名	大正十年三月迄		大正九年	
	數量	價額	數量	價額
米	四四五〇	六千四百	二四一〇〇	二九千
落花生	六〇	八	八九五七	二一〇〇
落花生油	不明	不明	—	—
椰子油	二六	九	一二三九	四五五
大豆油	八	—	一五、八六	四〇八四
棉子油	三	—	二、七五	一〇七
豆類	二、五元	—	四、八二〇	六六三
(ビーンズ)	—	—	—	—
綿織物	—	二四	—	二二〇七

滿蒙日支合辦事業

滿蒙方面に對する我が經濟的發展の必要なるは今更絮説する迄もなきところなるが何分にも支那の領土なる上彼等の利權回收熱旺盛となり我國實業家の單獨投資は言ふ迄もなく日支合辦事業さへ其の前途は樂觀を許さざる形勢にあり支那領土に於て

企業を容易ならしめ其の利益の一半を收むるには合辦事業に據るを最も得策とし今日までに成立したるものも甚だ尠からず即ち

一、本溪湖煤鐵公司	七百萬元
一、鴨綠江探木公司	三百萬元
一、鐵嶺電燈局	十一萬元
一、營口水道電氣公司	二百萬元
一、三泰油房	三十萬元
一、正隆銀行	三百萬元
一、瀋陽馬鐵公司	二百萬元
一、日清燐寸公司	三十萬元
一、信泰公司	十五萬元
一、鴨綠江製材公司	五十萬元
一、大連取引信託會社	百萬圓
一、開原取引信託會社	五十萬元
一、長春取引信託會社	五十萬元
一、天圖鐵道會社	百萬圓
一、遼陽電鐵公司	十二萬元
一、正陽銀行	三百萬元
一、龍口銀行	二十萬元
一、滿洲商事會社	三十萬元
一、營口水道電氣會社	二百萬元

其の他中日實業公司清和公司華商輕鐵運輸公司等(以上某銀行調査)を初め表面に現れざるもの多數ありといふ右

合辦事業中には日本商法に據るもの支那法に據るもの若くは二重國籍を有するもの更に國籍曖昧なるもの等種々數多に分れ

居るが何れも兩國政府又は兩國實業家の共同經營にて今日に於ては相當の利益を配當し居るものあり然れども我實業家中眞に日支間の經濟提携を策せんとするものは極めて僅少にして概ね眼前の小利害に惑せられ假令事業が成績良好にして利益を擧ぐるも約束通り支那人に配當分與することなく彼等をして徒らに

一、合同經營の名の下に日本人が利益を壟斷し支那人を有名無實ならしめ

一、合辦の將來は他國人に利益を獨占せしむるものなり
 一の疑心を抱かしめ合辦事業を嫌忌するの風を馴致しつゝあり右に對して心ある實業家は我が滿蒙發展上由々しき傾向なりとし

凡そ合辦に適する事業は(一)土地を利用する各種の産業(二)機械工業(三)科學的知識を必要とする工業(四)運送業保險業銀行業鑛業等にて支那側の協力に待たざれば日本人にのみにては到底不可能なり支那人は一般に名義を重んじ營利の觀念に厚く雷同性を帶ぶるのみならず風俗習慣等も異なるに依り日本人たる企業家は是等の諸點を研究し官利の配當は勿論場合によりては冠婚葬祭の贈物等に迄留意するの必要ありて支那側拂込未済の如きも強制的なるは決して策の得たるものに非ず斯く事業中監督を要するもの製造鑛石の販賣帳簿の記載等には日本人に當り土地の買付け原料の仕入れ職工鑛夫の募集支那官民との交渉等の役割は支那人を振り向くべし近時財界の變動と共に滿蒙方面の企業も不振の狀態に陥らんとしつゝある時なれば堅實なる投資家の自省發奮を要すと語り居れり現に張巡閱使の如きも日本人が支那人に對して利

益を均分するに於ては合辦事業寧ろ歡迎すべしと力説し居る程なれば從來の如き我が大小實業家の遣り口は速かに一擲し其の戒心を求むるの多し

商 況 (五月)

◎綿 糸 布

△綿糸 先月來よりの旺盛なる需要と在荷の拂底は益々糸價の昂騰を誘致し月始めに當りては相當活潑なる商狀を呈せしかと漸次農繁期に接近するに連れ需要の減退に依り一卸問屋筋の投機的賣買を除きては全く見るべき手合行はれず市況不振沈靜に推移せり月末に至り濰縣、濟南方面の小口必需買を齎らし内地三品市場の駝り並に上海市場の好況を告ぐるありしが當地市況は遂に人氣の轉機を見るに至らず不振閑散裡に閱月せり

△綿布 先月中より濟南方面への賣行稍見るべきものありしが再び同地方學生團の擡頭により賣行面白からず且つ一般農繁期に入れるを以て買氣漸次減退し坂地の好況を他に見て不振裡に月を終れり

△綿糸

扇 面	(十六手)	一五三兩	一五二兩	一五一兩
銀 月	(十六手)	一五三	一五〇	一四七
唐 子	(二十手)	一五四	一五二	一五五
福 島	(二十手)	一五九	一五六	一六〇

△綿布

九 龍 粗 布	兩	五、四〇	兩	五、七〇	兩	五、七〇
水 月 同		四、七〇		四、九〇		四、八五

鶏 天 竺 三、八五 四、〇〇 四、一五
 菊 同 二、八〇 二、八〇 三、〇〇

◎砂 糖

海外原料糖の弱氣に押され當地は一般に先行懸念見送の状態に在り市中品薄なるにも拘はらず相場は漸落の足取りを示し香港糖は反對に尠なからざる滯貨を抱きつゝ成行相場にて極力賣放ち居れるも僅かに小需筋の小口買漁りを見たるのみ先物は相當安値を出せしも尙買氣を呼ばざる有様にして商況頗る閑散を呈せり下旬に入りてより鹽水港製品約五千俵の手合出來たるを以て思惑筋漸く滿腹の姿となり買氣薄の處へ製造家筋は多少賣意向を見せつゝある爲め相場は益々軟調に傾き初旬三週物EK十七元より下旬十五元五十錢と下押弱含みにて本月を終れり

◎燐 寸

前月來頗る活況を持續し強氣一方にて前月中を押通し來りし燐寸界も輸入雜牌は小口ながら弗々着荷を見たと爲替も多少持直したる爲め當地兩建唱相場は上旬二十七兩より中旬二十六兩五匁と下押せしが下旬再び二十七兩と小戻し當地製品は製造家の賣腰軟弱なりし爲め相場は始終伸力無く安平入雜牌四十一元五十錢見當を保合つゝ市況閑散裡に本月を終れり

◎白 米

前月末内地に於ける受渡米不足事實曝露に引續き產地在米薄を傳へて定期市場は氣配一變二十五圓臺より一氣に二十八圓と暴騰頗る強調を傳へらるゝに至り鮮米も漸次氣丈に推移し當地市場も磨き三十圓五十錢上三十二圓五十錢と近頃無き高値を出

したる折柄上海米も產地積出の困難に伴れ上米市中在荷極度の品薄に陥り手持筋一體の賣惜しみに益々相場を吊上げ月末上一袋銀十七元と之亦近來の高値を呼ぶに至れりされど邦人向上米は市中僅かに數百俵を數ふるに過ぎずして補充困難の事情に在れば相場は尙幾分の強調を免かれざるべきも鮮米との値開き大に接近し來れる今日此上の値上げは需要を鮮米に奪はるゝの怖あれば鮮米にして現狀を維持するに於ては交互に牽制の姿となり是以上の高値を出すに至らざるべしと觀測せらる

◎花 生 實

月始頃歐洲向爲替持直したると佛方面油房業者より搾油原料として相當の高値に買進み來りたる爲め歐洲方面に聯絡を有せる各商店は偶然にも買競ひの姿となり相場は遽かに強調を加へたる一方五月定期受渡に際し突然割れ實問題を惹起し紛擾を重ねたる爲め六月定期も亦不合格品多からんと懸念により賣越に對する買戻に出るもの多く爲に何等かの刺戟により跳上らんと待ち構へたる相場を極度に吊上げ二十三日には遂に先物甲六元六十四錢現物六元五十錢の高値を呼び花々敷手合行はれしが二十日以後の高値にては却て歐洲相場と逆鞘の狀態に陥りたるを以て買入は一齊に手を引きたる跡再び軟弱漸落步調を辿りつゝ月末先物甲六元二錢現物五元九十錢と下押漸く歐洲相場と出合姿に推移せしが買氣薄に本月を終れり

◎花 生 油

久敷沈黙せる歐洲市場は弗々恢復の色現はれ米方面も亦相當買氣を催し來りたるが如く相場も出合姿に推移せるを以て輸出筋

は機に乗じ競ふて買付に従事せる爲め遽かに強調に轉じ實と同樣二十三日十二元八十五錢と暴騰近頃珍らしき高値を出したる爲歐洲相場と引合はず輸出筋買扣へたる處へ即墨帮の賣浴せに氣勢漸く軟化し月末先物十一元七十錢現物十一元五十錢と下押本月を終れり花生油は從來輸出に當り石油空罐に收容し箱詰として荷造りせらるゝか或は樽詰として輸送せらるゝを例とせしが本年は新たにデープタンクにより輸送すべき條件の下に引合を爲したる向あるが如く此方法によれば荷造りに要する諸費用を節約し得らるゝのみならず容器破損による損害を除去し得べく確かに同油輸出上の一進歩たるを失はず

◎鹽

本年の春鹽は平年の七分作を示したれど既に第二期收穫期に入り出廻り旺盛なるべきにも拘はらず支那鹽田業者は埠頭保管倉庫に於ける鹽質の検査、格付等に尠なからざる手数を要する爲め舢板荷役の苦力冗費と保管料出し嫌ひ等により鹽田に野積として保藏する方却て採算有利なるを思ひ舢板の來着餘り繁からざる模様にして從て埠頭現場に於ける舢板商内も亦前年の盛況を見ずされど埠頭滯貨は來着鹽尠なきも本年度政府納鹽の開始と共に漸次消化せられ相場は僅かに反撥氣配を示し來れるも朝鮮、香港方面の輸出不振並に鹽田貯鹽の豊富に伸力を失し普通鹽四元二十錢同乙種三元九十錢の底値を動かす商況不振を極め居れり

◎牛 肉

牛肉の日本輸出は時季の關係上漸次減退し生牛も亦奧地に於ける牛疫比較的猖獗的にして當地に於て検査の結果鷺口瘡罹病牛

を續々發見せるに驚き當局に於ても益々検査を嚴重にすると共に一時生牛輸出を中止せしむるの止むなきに至り鮮肉生牛兩ながら不振の狀況を續けしが開治洋行のマニラ輸出も亦納入の一段落を告げ前月來休止の狀態に在りさしも旺盛なりし牛肉輸出は遽かに寂寞を感ずるに至れり然るに山省省長は曩に移出牛に對する取締の方法として護照を發付せしむる事と爲したるも今回更に護照に對する取締令を發し移出を牽制せる觀あり出廻頓に減少せる爲前記輸出の不振にも拘らず相場は却つて強調を現はし月始枝付一貫匁九十五錢より月末は一元十五錢と二十錢見當の暴騰を見るに至れり

◎鶏 卵

鶏卵の内地輸出は益々盛況を呈し每船一萬餘箱の積出を見つゝありしが月始内地市況不味を入れて買手一齊買扣たるも濟南物の出廻益々旺盛を極め上旬より中旬にかけ千七百十三噸餘の着荷を見たるため市中滯貨激增相場は刻々に崩落を告げ一時小玉物八元臺割れを見せ前途悲觀に襲はるゝの有様にして一部に六元臺實現說さへ傳へらるゝ程なりしも十二日頃より内地滯貨の消化と共に弗々買氣を見せ來り相場も忽ち八元五十錢並物十一元と恢復し商勢を挽回せしが漸次内地市場の好化に従ひ各店とも買進みたるを以て滯貨の一掃と共に相場は再び強調を呈し出廻可なり旺盛なるにも拘らず片端より消化し盡さるも模様にして相場もデリ高の歩調を辿りつゝ下旬濟南物十一元と上押商況頗る緊張せり

◎石 炭

博山炭は上海送りとして相當數量を約定せる向あるも何分同市場に日本炭の投物殺到せる爲め炭況愈不振にして約定博山炭の圓滑なる積取行はれず行惱みの状態に在る一方淄川炭及坊子炭の沿線出廻り多き爲め博山炭は内外とも荷捌き思はしからず需要減退期を前に扣へて休曠するものを見受くるに至れり淄川の焚料は現在の値段漸次割高の状態となりたるも相當の積取を見本月中日本郵船歐洲航路船及青島船焚料として試験的積取ありたるが將來漸次大型船を招致する事を得るに至らん日本炭は現在の有様を見るに殆んど底値にして是以上多大の値下を見るべしと思はれざるも當地に在りては地元炭愈棒下の状態なれば輸入は益々見込無かるべしと觀測せらる

銀塊並英米爲替相場 (五月)

倫敦先物	同現物	紐育	英米爲替
五月一日			
二 日 三四・八分ノ七	三四・二分ノ一	六〇・八分ノ七	三、九六・八分ノ五
三 日 三四・八分ノ七	三四・二分ノ一	六一・八分ノ三	三、九七・
四 日 三五・	三四・八分ノ五	六一・八分ノ三	三、九八・四分ノ一
五 日 三五・四分ノ一	三四・八分ノ七	六一・八分ノ三	三、九八・
六 日 三四・四分ノ三	三四・八分ノ一	六一・八分ノ七	三、九七・八分ノ七
七 日 三五・二分ノ一	三四・八分ノ三	六〇・四分ノ三	三、九七・八分ノ五
八 日			
九 日 三五・八分ノ一	三四・二分ノ一	六二・二分ノ一	三、九八・二分ノ一
十 日 三五・	三四・	六一・八分ノ五	三、九八・二分ノ一
十一 日 三四・二分ノ一	三四・四分ノ三	六一・八分ノ三	三、九九・
十二 日 三四・二分ノ一	三四・	六〇・二分ノ一	三、九九・
十三 日 三四・四分ノ一		六〇・八分ノ七	四、〇〇・

十四 日 三三・八分ノ七	三三・二分ノ一	六〇・四分ノ一	四、〇〇・八分ノ三
十五 日			
十六 日			
十七 日 三三・四分ノ三	三三・二分ノ一	五九・四分ノ三	四、〇〇・二分ノ一
十八 日 三三・二分ノ一	三三・八分ノ一	五九・四分ノ三	三、九九・八分ノ七
十九 日 三三・四分ノ一	三二・四分ノ三	五九・八分ノ五	四、〇〇・四分ノ一
二十 日 三三・八分ノ一	三二・八分ノ五	五八・八分ノ一	四、〇〇・二分ノ一
二十一 日 三三・四分ノ一	三三・	五八・四分ノ三	四、〇〇・八分ノ五
二十二 日			
二十三 日 三三・八分ノ七	三三・八分ノ三	五八・八分ノ五	四、〇〇・四分ノ一
二十四 日 三三・八分ノ三	三三・	五九・八分ノ一	三、九五・四分ノ三
二十五 日 三三・四分ノ一	三三・	五八・	三、九六・二分ノ一
二十六 日 三三・二分ノ一	三三・八分ノ一	五八・八分ノ一	三、九四・四分ノ一
二十七 日 三三・八分ノ一	三三・二分ノ一	五八・	三、九〇・二分ノ一
二十八 日 三四・	三三・八分ノ五	五八・	三、八五・四分ノ一
二十九 日			
三十 日 三四・八分ノ一	三三・四分ノ三		



法 規

布令第四十五號

營業取締規則左ノ通定ム

大正十年五月二十八日

青島守備軍司令官 山比 光衛

營業取締規則

第一條 青島守備軍管内ニ於ケル營業取締ニ付テハ特ニ規定ノアルモノノ外本令ノ定ムル所ニ據ル

第二條 左ノ營業ヲ爲サムトスル者ハ甲種營業ニ在リテハ民政署長ニ、乙種營業ニ在リテハ所轄憲兵分隊長ニ願出テ許可ヲ受クヘシ

甲種營業

- 一 痘苗及血清其ノ他細菌學的豫防治療品製藥業
- 一 肥料製造並賣買業
- 一 魚獸化成業
- 一 罐詰製造業
- 一 製油業
- 一 煙草製造並葉煙草賣買業
- 一 燐寸、附木並同材料製造業
- 一 魚介類仲買業
- 一 製粉業
- 一 製綿業
- 一 製絲業
- 一 紡績業

乙種營業

- 一 鐵工業
- 一 釀造業
- 一 信託業
- 一 煉瓦並瓦製造業
- 一 法律顧問業
- 一 有價證券賣買並仲買業
- 一 重要物產同業組合規則ニヨル諸營業
- 一 新聞雜誌其ノ他出版物ノ發行業
- 一 興信業
- 一 瓦斯、電力發生供給業
- 一 銃砲火藥類ノ製造販賣業
- 一 煙花、爆竹製造販賣業
- 一 石油貯藏販賣業
- 一 酒精、揮發油、石油其ノ他引火貨物ノ製造並賣買業
- 一 獸醫及蹄鐵業
- 一 製藥業
- 一 賣藥並賣藥部外品製造業
- 一 藥種販賣業
- 一 氷並清涼飲料水製造販賣業
- 一 掃除業
- 一 胞衣取扱業
- 一 產婆業、看護婦業
- 一 廢物賣買業
- 一 鍼灸按摩マツサージ業
- 一 入齒、齒拔、接骨業

- 一 湯屋業
- 一 質屋業
- 一 古物商
- 一 競賣業
- 一 馬車、自轉車、自働車ノ貸付及乗合業
- 一 貸船舟業
- 一 ト占業
- 一 遊戲業
- 一 劇場、寄席、活動寫眞其ノ他ノ興行業
- 一 俳優、活動寫眞辯士業
- 一 船客取扱業
- 一 案内業
- 一 露店業
- 一 行商業
- 第三條 前條以外ノ營業ヲ爲サムトスル者ハ開業十日前ニ民政署長ニ届出ツヘシ
- 第四條 會社ノ支店、出張所又ハ各種組合ヲ設置セムトスルトキハ民政署長ニ願出ヲ許可ヲ受クヘシ但シ乙種營業ニ屬スレ組合ノ設置ハ所轄憲兵分隊長ノ許可ヲ受クヘシ
- 第五條 許可書ヲ毀損若ハ亡失シタルトキハ直ニ再下付ヲ願出ツヘシ
- 第六條 願、届出事項ニ變更ヲ生シタルトキハ直ニ届出ツヘシ
- 第七條 營業ヲ廢止シタルトキハ五日以内ニ届出ツヘシ其ノ届出ノ際甲、乙種營業ニ在リテハ許可證ヲ返納スヘシ
- 前項ノ規定ハ會社ノ支店、出張所又ハ組合ノ閉鎖若ハ解散ノ場合ニ之ヲ應用ス

第八條 露店業又ハ行商業ハ營業ニ從事中許可證ヲ携帯スヘシ

第九條 民政署長又ハ憲兵分隊長ハ公安、風俗又ハ衛生上必要アリト認メタルトキハ當該官吏ヲシテ營業場所ニ臨檢セシメ必要ナル指示ヲ爲サシムルコトヲ得

第十條 民政署長又ハ憲兵分隊長ハ販賣又ハ營業ノ用ニ供スル物件ニシテ公安、風俗、衛生上危害ヲ生スル虞アリト認メタルトキハ其ノ製造、販賣、授受、使用ヲ禁止シ又ハ停止シ若ハ其ノ物件ヲ無償ニテ廢棄セシメ其ノ他必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第十一條 民政署長又ハ憲兵分隊長ハ本令ノ規定ニ違反シ又ハ指示ヲ遵守セサル者アルトキ若ハ公益上必要アリト認メタルモノアルトキハ其ノ營業ヲ禁止、停止、制限又ハ許可ヲ取消スコトヲ得

第十二條 許可ヲ受ケタル者指定ノ期間内ニ營業ヲ開始セサルトキ又ハ正當ノ事由ナク休業六箇月ニ及フトキ若ハ行衛不明ト爲リタルトキハ其ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

第十三條 第二條、第三條、第四條ノ願届書ハ別記様式ニ依ル

第十四條 本令又ハ本令ニ基ク命令若ハ處分ニ違反シタル者ハ一ヶ月以下ノ監禁又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

附 屬

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前許可又ハ認可ヲ受ケ現ニ其ノ業務ニ從事スル者ハ本令ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

様式(半紙野紙)

營業 願 (規則第二條及第三條但書ニ依

ルモノノ
原籍又ハ本店所在地
現住所又ハ支店所在地
屋號又ハ商號

氏 名

生年月日又ハ年齡

一 何業

一 營業場所

一 資本金

一 營業開始期

一 營業方法

右御許可相成候上ハ營業取締規則ハ固ヨリ法令ニ依ル如何ナル
御命令ニテモ堅ク遵守可仕此段奉願候也

年 月 日

右

氏 名 印

民政署長又ハ
憲兵分隊長 殿

營業 届 (規則第三條ニ依ルモノ)

原籍

現住所

屋號又ハ商號

氏 名

生年月日又ハ年齡

一 何業

一 營業場所
一 資本金
一 營業開始期
一 營業方法

右營業開始致候ニ付此段及御届候也

年 月 日

右

氏 名 印

民政署長 殿

會社支店設置願 (規則第四條ニ依ルモノ)
出張所 本店所在地

支店所在地
出張所

會社名

支店出張所長又ハ主任 氏 名

右支店出張所設置致度候ニ就テハ別紙會社定款登記謄本及青島ニ於
ケル事業目論見書相添ヘ此段奉願候也

年 月 日

社長又ハ代表取締役 氏 名 印

民政署長 殿

備考

社長又ハ代表取締役ハ委任狀ヲ以テ支店出張所
ノ長又ハ主任ヲシテ出願セシムルコトヲ得

組合設立許可願 (規則第四條ニ依ルモノ)

組合所在地
組合名

右組合設立致度候ニ就テハ別紙組合設立趣意書、決議錄、組合規約書相添へ此段奉願候也

年 月 日

組合長 氏 名 (印)

民政署長又ハ
憲兵分隊長 殿

青島港輸出花生實同油每年比較表

(單位擔)

仕向地	品名	大正七年	大正八年	大正九年	大正十年五月迄
日本	花生實	二五九〇	八三三六	六三九四	三六九四
同	油	二五三七	四九二七	三二二六	三二二
霧國	同				
英國	同				
香港	同	六二九		二八〇	九二
同	同	九四三	六四四	一〇七六	四五六
其他外國	同				
同	同		七六一	三九三〇	八五〇三
大連	同	一四三九	一四〇〇	四三三三	一七〇三
同	同	一〇一六三	一八三六	五五七	五八四三
上海	同	一四〇二	八二六三	五五八五	八三八四
同	同	四〇六	六七	二七二六	六六五三
其他	同	八〇四六	九三〇九	四四七九	二五三三
支那	同	二一七四	五三二一	四四二六	二〇四八
計	同	四九四八	一〇二九九	一三二四	六九九三
同	同	三三〇一	六六五三	四九三六	二〇五九

生實生油仕向地別表

自大正十年一月
至大正十年五月

(單位擔)

仕向地	品名	一月	二月	三月	四月	五月
日本	花生實	一八六六	四八七	三二九	五九四	三〇九
同	油					
英國	同	二八〇				
香港	同	八〇九	二四四	七九		九一
同	同	八〇〇	五三八	五八三	二〇二	一七二
其他外國	同					
同	同		三〇〇	三〇〇	二四五	五四四
大連	同					
同	同					
上海	同	一〇九八	二六七	一〇七六	二五八〇	三九七三
同	同	二〇三		一六四	二四七	三三七
其他	同	六二九	二六八	二八七五	九八五	三七八
支那	同	四六三	二二九	一三六	二六七	一二二〇
計	同	九二七	八二四	二六六	三〇五	一四八〇
同	同	六〇四	一七五	二〇四	三六八	二五三七



（大正十年五
月中到著分）

○所	○所	○所	○支	○海	○大	○年	○公	○會	○東	○岐	○日	○經	○京	○貿	○青	○蒙	○港	○商	○北	○青	○佛	○水	○渡	○滿	○蘭	○朝	○奎	○雜	○工	○上	○海
報	報	報	報	友	陸	報	報	報	通	商	公	資	都	通	商	古	勢	業	支	島	國	產	航	蒙	領	鮮	用	穀	業	港	
第一	第三	第三	第十二	第一	第一	第一	第一	第一	第八	第八	第八	第一	第一	第一	第一	第一	第二	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	
八	五	四	卷	三	卷	一	一	一	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	
號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	
國	博	長	東	大	大	長	山	天	東	岐	日	東	京	大	青	蒙	元	大	南	青	神	青	民	大	臺	京	東	上	工	海	
館	多	崎	亞	連	連	崎	東	津	方	阜	華	亞	都	阪	島	古	山	阪	滿	島	戶	島	政	連	灣	城	京	海	業	港	
商	商	商	同	海	海	商	公	商	通	商	公	經	商	商	守	古	商	高	洲	守	高	島	部	商	總	城	京	海	業	港	
業	業	業	文	務	務	公	工	業	業	業	公	濟	業	業	備	通	業	等	鐵	軍	等	水	鐵	商	督	商	上	業	業	業	
會	會	會	會	協	協	議	協	議	議	議	論	調	會	會	軍	信	會	商	道	司	商	產	道	業	府	會	業	業	業	業	
議	議	議	編	會	會	所	會	所	所	所	社	局	所	所	部	社	議	學	式	令	學	組	頭	會	陳	議	店	店	局	局	
所	所	所	纂	務	務	所	社	會	社	所	社	局	所	所	部	社	議	校	會	部	校	校	報	所	館	所	店	店	局	局	

青島港出入船舶旅客

(大正十年五月)

出航乗船之部

區別	大連	日本内地				朝鮮	上海	芝罘	天津	廣東	牛莊	安東縣	浦鹽	石臼所	海州	山東省	江蘇省	福建省	關東州	計
		大阪	神戸	門司	其他															
日本人	358	9	139	478	30	5	35	—	3	—	—	—	—	—	6	—	—	—	—	1,063
支那人	89	11	91	204	27	4	5	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	432
英國人	3,627	6	9	5	2	4	139	87	5	1	100	338	243	257	194	4,341	289	106	167	9,970
露國人	224	—	—	—	—	—	24	13	—	—	—	62	—	1	—	194	98	47	39	702
米國人	2	—	—	—	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9
獨逸人	1	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
佛國人	20	—	—	—	—	—	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30
和蘭人	9	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13
伊太利人	3	—	—	—	—	—	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10
丁抹人	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
合計	4,911	15	149	485	32	9	249	87	8	1	100	338	243	253	200	4,341	289	106	167	11,088
男女計	324	11	92	204	27	4	37	13	1	—	—	62	—	1	—	194	98	47	39	1,154
	4,335	26	241	689	59	13	286	100	9	1	100	490	243	259	200	4,535	387	153	206	12,242

備考 表中●印ハ帆船ニ依リ膠州灣外へ出港セル旅客トス

入港上陸之部

區別	大連	日本内地				朝鮮	上海	芝罘	天津	臺灣	安東縣	浦鹽	福州	マニラ	石臼所	海州	山東省	江蘇省	福建省	關東省	計
		大阪	神戸	門司	其他																
日本人	254	14	354	571	72	15	48	1	2	1	—	—	—	—	—	10	—	—	—	—	1,342
支那人	76	3	127	353	47	5	36	—	2	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	650
英國人	3,254	11	18	11	2	29	451	51	—	—	450	266	3	—	359	154	1,144	526	200	142	7,071
露國人	401	—	—	—	—	—	57	7	—	—	99	18	—	—	52	5	436	188	61	21	1,347
米國人	3	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10
獨逸人	1	—	—	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6
佛國人	31	—	—	—	—	—	15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	52
和蘭人	31	—	—	—	—	—	17	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	54
波蘭人	2	—	—	—	—	—	9	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	15
葡萄牙人	2	—	—	—	—	—	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8
瑞典人	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
丁抹人	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
レイン	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4
フィン	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
ヒン	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
合計	3,548	25	376	539	74	44	535	53	2	1	450	271	3	—	363	168	1,144	526	200	142	8,512
男女計	511	3	133	355	47	5	129	7	2	—	99	22	—	—	52	6	436	188	61	21	2,077
	4,959	28	509	944	121	49	664	60	4	1	549	293	3	1	412	174	1,580	714	261	163	10,589

備考 表中●印ハ帆船ニヨリ膠州灣外ヨリ渡來セル旅客トス

品名	發著	青島驛		大港驛		埠頭荷扱所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
雜貨 (表モノヲ除)	發著	1,194.6	10.5	19.6	—	15.3	—	1,240.0
	"	77.5	3.3	0.1	—	—	0.1	81.0
	"	31.0	0.8	322.4	—	—	—	354.2
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	13.5	—	13.3	—	306.1	—	332.9
硫火銅	鐵類	—	—	—	—	—	—	—
	"	14.0	—	—	—	—	—	14.0
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	8.8	—	—	—	—	8.8
	"	56.8	1.2	—	—	—	—	58.0
青鉄銅	貨子	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	0.2	—	—	—	—	0.2
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	0.5	—	—	—	—	0.5
	"	—	1.8	111.1	—	—	—	112.9
家麻鷄	具袋	—	0.9	3.5	—	0.5	—	4.9
	"	7.6	5.4	1.3	0.8	—	—	15.1
	"	123.7	56.2	1.6	—	6.0	—	187.5
	"	22.0	34.2	25.1	0.1	—	—	81.4
	"	—	2.0	—	—	—	—	2
容蠟飲	器燭水	77.8	12.9	—	—	—	—	90.7
	"	61.9	6.3	—	—	405.0	—	473.2
	"	—	5.0	—	—	—	—	5.0
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	9.9	7.5	—	—	—	—	17.4
機其豚	械他	—	—	—	—	1,297.2	0.3	1,297.5
	"	295.0	50.9	80.7	—	273.3	0.3	700.2
	"	420.2	11.4	132.3	5.8	22.4	—	592.1
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
砂割羊	石	—	—	105.0	—	—	—	105.0
	"	37.0	—	—	—	—	—	37.0
	"	—	—	210.0	—	—	—	210.0
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
驪及驢馬牛	馬	—	—	—	—	—	—	—
	"	2	—	—	—	—	—	2
	"	12	—	6	—	—	—	18
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	3,029	—	—	—	—	—	3,929
計	"	17,704.3	627.9	2,540.7	—	8,209.8	1.9	29,084.6
	"	20,612.5	202.3	10,069.1	11.2	14,978.1	0.5	45,873.7

品名	發著	青島驛		大港驛		埠頭荷扱所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
肥麥安	種田平	—	—	14.8	—	—	—	14.8
	料稈	—	—	—	—	—	—	—
	各眞	96.8	1.0	0.9	—	—	—	98.7
	粟	—	—	—	—	51.6	—	51.6
	稈	118.2	0.2	6.0	0.1	—	—	124.5
藁鹽砂	稈	—	—	—	—	12.7	—	12.7
	及	41.0	—	—	—	—	—	41.0
	粟	—	1.2	—	—	—	—	1.2
	糖	609.6	4.5	0.8	—	70.4	—	685.3
	酒	—	0.1	—	—	—	—	0.1
日支	本	—	10.2	—	—	—	—	10.2
	一	—	0.5	—	—	—	—	0.6
	那	—	7.8	15.1	—	—	—	22.9
	酒	0.6	—	—	—	—	—	0.6
	酒	0.1	1.9	—	—	—	—	2.0
食料品	(表ノ)	440.4	28.6	0.6	—	1.2	—	470.8
	(中ノ)	15.7	2.9	6.1	—	—	—	24.7
	(記ナ)	—	3.6	—	—	—	—	3.6
	(載除)	—	0.6	—	—	—	—	0.6
	(ノク)	—	2.5	0.7	—	—	—	3.2
乾野	物	—	—	—	—	—	—	—
	菜	105.0	2.1	—	—	—	—	107.1
	卵	—	—	—	—	—	—	—
	藍	458.7	54.8	2,973.6	0.1	21.5	—	3,508.7
	染	—	—	—	—	—	—	—
塗	料	87.3	8.7	—	—	10.0	—	106.0
	藥	22.0	3.0	—	0.1	—	—	25.1
	品	6.0	14.3	7.9	—	97.8	1.3	127.3
	及	27.9	1.5	3.6	—	—	—	33.0
	藥	7.7	0.5	6.4	—	23.0	—	37.6
曹石	達	0.3	0.7	—	—	—	—	1.0
	鹼	3.1	2.1	—	—	—	—	5.2
	草	1.1	0.1	0.8	—	—	—	2.0
	煙	38.9	72.4	—	—	236.1	—	347.4
	葉	—	7.3	—	—	—	—	7.3
茶	草	15.9	—	19.9	—	—	—	35.8
	煙	6.5	0.5	102.7	—	—	—	109.7
	茶	41.6	0.7	—	—	—	—	42.3
	毛	—	0.1	0.1	—	—	—	0.2
	豚	—	—	—	—	—	—	—
羊獸	毛	18.7	0.8	—	—	—	—	19.5
	毛	3.1	0.1	—	—	—	—	3.2
	骨	—	—	—	—	—	—	—
	皮	180.7	—	—	—	—	—	180.7
	皮	—	1.9	2.0	—	—	—	3.9
牛豚魚	皮	25.3	1.5	24.7	—	8.3	—	59.8
	類	—	—	—	—	—	—	—
	魚	36.6	1.9	—	—	—	—	38.5
	昆	1,429.4	148.0	15.3	—	—	—	1,592.7
	布	—	—	—	—	—	—	—
其ノ他	草	—	0.1	—	—	—	—	0.1
	草	—	—	—	—	624.4	—	624.4
	草	—	—	—	—	—	—	—
	粉	—	—	—	—	—	—	—
	粉	7.8	—	—	—	—	—	7.8

品名	發著	青島驛		大港驛		埠頭荷扱所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
小麥	發著	1,618.0	—	14.2	—	—	—	1,632.2
	"	0.3	—	—	—	—	—	0.3
	"	42.4	18.3	23.6	—	41.3	—	125.6
	"	313.0	—	14.4	—	—	—	327.4
	"	5,706.4	0.4	712.3	—	10.4	—	6,429.5
穀類 (表中記載ノモノヲ除ク)	"	11.8	2.3	0.6	—	—	—	14.7
	"	—	—	—	—	—	—	—
落花生	"	30.8	—	5.4	—	—	—	36.2
	"	1,474.1	—	1,994.5	—	2,466.1	—	5,934.7
麥粉	"	19.2	1.0	—	—	—	—	20.2
	"	3.0	1.8	5.5	—	—	—	10.3
陶磁器及土器	"	—	1.9	—	—	—	—	1.9
	"	46.2	0.1	249.0	—	—	—	295.3
支那紙	"	214.4	0.4	5.5	—	27.2	—	247.5
	"	3.9	9.4	6.1	0.9	—	—	20.3
紙 (支那紙ヲ除ク)	"	7.1	3.9	1.5	—	9.1	—	61.6
	"	—	—	—	—	—	—	—
麻	"	—	0.9	—	—	—	—	0.9
	"	59.1	4.4	3.1	—	—	—	66.6
綿花	"	53.8	0.1	11.4	—	450.2	—	515.5
	"	3.0	1.0	61.0	—	14.2	—	79.2
綿布	"	327.5	20.5	0.5	—	31.6	—	380.1
	"	2.8	13.7	—	0.1	—	—	16.6
綿絲	"	1,072.3	80.1	64.9	—	42.8	—	260.1
	"	—	1.9	313.9	—	—	—	315.8
綿製品	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
	"	1.4	4.6	—	—	—	—	6.0
絹絲 (屑ヲ含ム)	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	4.7	1.0	—	—	—	—	5.7
絹布類	"	—	0.3	—	—	—	—	0.3
	"	11.3	5.8	—	—	—	—	17.2
繭 (屑繭ヲ含ム)	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	4.2	—	3.9	—	—	0.1	8.2
棗	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	49.8	—	0.3	—	—	—	50.1
梨	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
乾柿	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
胡桃	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
蜜柑	"	—	2.1	—	—	—	—	2.1
	"	—	0.2	—	—	—	—	0.2
瓜及西瓜	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
瓜子	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	2.2	—	—	—	—	—	2.2
果實 (表中記載ノモノヲ除ク)	"	9.3	—	—	—	—	—	9.3
	"	—	1.3	—	—	—	—	1.3
石油	"	—	—	534.0	—	739.5	—	1,273.5
	"	—	—	—	—	—	—	—
落花生油	"	374.1	—	2,003.8	—	26.8	—	2,404.7
	"	—	—	—	—	—	—	—
豆油	"	15.2	—	7.8	—	—	—	23.0
	"	—	—	—	—	—	—	—
牛油	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	7.9	0.5	5.3	—	—	—	13.7
油類 (表中記載ノモノヲ除ク)	"	11.5	3.7	5.0	—	80.1	—	100.3
	"	32.6	1.5	—	—	—	—	34.1
油粕	"	45.9	—	3.6	—	115.5	—	165.0
	"	158.4	—	254.8	—	—	—	413.2

品名	單位	移入	移出	灣內運輸	品名	單位	移入	移出	灣內運輸
食酒海杏瓜	鹽	—	—	11,939	葉羅大鮮粉	頭	—	8	62
	鼠仁子	—	—	15			434	—	2,181
		—	—	—			110	—	—
		—	866	122			11	—	2,078
		—	—	—			—	158	37
胡曹麥牛重輕	麻達田油料料	67	—	—	胡柳木雜三莞	等	—	1,070	26
	早	—	451	2			297	—	10
	木	—	—	141			7,440	45	149
		—	—	—			6,391	—	1,541
		—	—	—			4,370	—	—
		—	—	—			2,538	—	—

青島三驛發着貨物主要品

(大正十年五月)

(單位噸 獸類ハ頭數)

品名	發著	青島驛		大港驛		埠頭荷扱所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
石炭	發著	90.0	—	—	—	153.0	—	243.0
コ	"	14,926.0	1.4	705.0	0.4	9,889.8	0.1	25,522.7
石	"	—	0.2	—	—	—	—	0.2
	"	374.0	0.1	15.0	0.4	881.5	0.2	1,271.2
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	1,176.0	—	1,176.0
煉瓦 (瓦ヲ含ム)	"	6.6	0.1	—	—	12.0	—	18.7
セメント	"	—	—	15.0	0.1	—	—	15.1
	"	7.6	4.1	—	—	300.0	—	311.7
硝子板	"	78.0	—	37.0	—	30.0	—	145.0
	"	—	0.1	2.2	—	—	—	2.3
	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
硝子製品	"	17.8	1.3	—	—	—	—	19.1
桐	"	13.3	0.5	—	—	—	—	13.8
	"	—	—	—	—	—	—	—
木材 (板ヲ含ム)	"	314.6	—	966.1	0.9	—	—	1,281.6
	"	115.2	10.9	18.1	—	2,552.3	—	2,696.5
	"	234.8	0.3	13.2	—	—	—	248.3
竹及割竹	"	56.1	—	2.8	—	14.0	—	73.2
白石	"	—	0.3	—	—	—	—	—
石材及同製品	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	423.1	—	—	—	3.0	—	426.1
	"	—	0.3	—	—	—	—	0.3
鐵板鐵製品	"	156.8	15.5	8.8	—	440.5	—	621.6
鐵鍋	"	141.4	2.5	5.4	1.4	36.5	—	187.2
鐵古	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	88.6	0.1	—	—	—	—	88.7
	"	468.2	0.1	5.6	—	—	—	473.9
	"	—	—	—	—	—	—	—
大豆	"	527.9	—	14.5	—	—	—	542.4
豆類 (大豆ヲ除ク)	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	172.4	0.5	32.4	—	—	—	205.3
	"	14.2	—	—	—	—	—	14.2
高粱	"	2,064.0	—	234.8	—	—	—	2,460.5
	"	—	—	—	—	—	—	—

— 膠海關統計 —

品名		單位	移入	移出	灣內運輸	品名		單位	移入	移出	灣內運輸
竹竹日黑綠	稗蔑粕豆	本擔同同同	6,400 1,046 5,926 570 258	— — — — —	— 2 160 — —	芋鹽麥 (鮮 林)	乾 魚粉 檳	擔同同同	440 582 611 —	— — 19 —	— — 193 —
白雜牛 黃豆 黃豆 骨 帽	同同同同個	同同同同個	4,635 3 225 466 —	— — — 6 —	1,192 290 577 — —	葡 查頭薑	同同同同同	同同同同同	— 2 — — —	— — 35 — —	— — 35 — 5
(糧 食 品)	麥 蜀黍	擔同同同	40 24,713 45,397 65	— — — 38	— 12 — 1,149	落花生 花生油	生仁肉	同同同同同	1,153 43,411 139 —	1,535 11 20 1,191 —	1,259 4,368 76 48 —
大高玉粟	麥 實器布	同同同同同	2,114 36,851 — 108 71	30 — — — 5	— — — — 3	石各藥豆草 麻子	灰 蔗材 油	同枚擔同同	290 2,080 129 —	3,210 810 5 469 —	249 4,430 5 7 —
米小栗磁綿	炭 綿花 棗	噸同擔同同	— — 24 2,676 —	1,723 82 — 6 —	1,443 6 4 5 —	花胡桐上 生麻 等等	油 油 紙 紙	同同同同同	1,267 — 42 — 618	12,287 — — — —	3,194 14 — — 32
石コ古棉黑	棗 卵蛋 類 麻	同個個	— 876,004 16,600 — 8	— — — — —	18 3,020,400 — — 85	胡乾鹽陶葦	椒 柿 器 草	同同頭擔同	— — — 69 148	— — — 201 —	— — — 38 298

品 目	單 位	上 海	芝 罘	大 連	其 他	合 計
同石麥砂同	斤 擔	2,434	—	—	—	2,434
精 條真	" "	11	—	—	—	11
鹼 程	" "	17	—	—	43	60
糖	(赤)	287	—	—	130	417
	(白)	118	—	—	—	118
茶煙木	" "	1,393	—	—	—	1,393
草	" "	24	—	—	—	24
製 刻	" "	93	—	—	2	95

輸出支那品仕向地別

品 目	單位	日 本	露 國	英 國	香 港	其ノ他	大 連	上 海	其ノ他	合 計
生豆黃牛獸	頭擔	172	—	—	—	—	54	—	—	226
	〃	—	—	—	—	—	—	—	4,738	4,738
銅豚氈山棉	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
錫黑蛋蛋乾	〃	12,423	—	—	—	—	600	40	—	13,063
	〃	4,405	—	—	—	—	—	—	—	4,405
塊毛帽炭花	〃	5,549	—	—	—	—	48	—	—	5,597
	〃	—	—	—	—	—	—	—	45	45
東	個噸擔	7,470	66	—	1,065	—	801	7,310	2,387	19,693
	〃	31	—	—	—	—	—	—	—	31
棗白黃蛋	〃	—	—	—	32	—	—	—	250	32
	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	250
	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
卵	個	49,239,240	3,567	—	—	—	—	—	—	49,595,940
魚鮮品	擔	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	〃	1	3	—	—	—	—	—	27	30
	〃	—	—	—	6	—	1	73	77	157
生仁髮子	〃	5,475	—	—	—	375	375	2,631	—	8,856
	〃	59,459	—	—	1,432	24,525	1,583	25,180	98,356	210,535
	〃	38	—	—	—	—	—	—	—	38
個擔	〃	25	120	—	66	—	—	323	—	443
	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	91
油	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	〃	—	—	—	12,101	—	—	2,437	21,647	33,188
	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
豚	〃	165,077	12,314	—	93,391	—	—	—	—	270,782
	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
仁子麻操操	〃	1	—	—	45	—	—	—	1	47
	〃	—	—	—	—	—	—	—	104	104
	〃	103	—	—	—	—	—	3	—	103
	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
座再	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
機座再機	〃	32	—	—	—	—	10	20	—	62
	〃	—	—	—	—	—	—	85	—	85
	〃	41	—	—	—	—	41	38	—	120
	〃	39	—	—	—	—	—	19	—	58

品名	單位	日本	英國	米國	香港	其他	上海	大連	其他	合計
同同紙胡	(日本箱入) (裸)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	擔	1,287	—	—	34	—	660	24	—	2,005
	米	2,787	—	—	123	—	—	—	—	123
	椒	—	—	—	12,557	15	—	—	—	15,359
昆日石同曹	布酒條用達	27	—	—	27	—	—	—	—	54
	本鹼	970	—	—	—	—	—	31	—	1,001
	化粧	540	—	—	—	—	16	—	—	556
	海關兩	1,748	—	—	—	—	308	185	—	2,241
	擔	138	—	—	821	—	2,043	32	—	3,034
醬砂同同同	油 (赤)	304	—	—	—	—	—	263	—	567
	糖 (白)	—	—	—	13,015	—	—	—	—	13,015
	精	—	—	—	1,385	—	—	—	—	1,385
	製水	503	—	—	11,541	—	4	—	—	12,048
	材 (堅)	50	—	—	977	—	—	—	—	1,027
木同	立方呎	89,756	—	—	—	—	9,847	—	—	99,603
	雙	28,871	791,816	—	—	—	24,700	38,710	—	874,097

輸入支那品仕出地別

(大正十年四月)

品目	單位	上海	芝罘	大連	其他	合計
(綿製品類) (上海)	疋	13,820	—	—	—	13,820
シ雲土花	擔	1,070	—	—	—	1,070
色土	擔	31	—	—	—	31
布布	擔	203	—	—	—	203
綿 (雜)	絲	4,983	—	—	—	4,983
砒竹竹	石簾度	294	—	—	104	398
	個擔	170,532	—	—	—	170,532
	簾	1,185	—	—	—	1,185
筍書蠟	籍燭	85	—	—	—	85
	米	27	—	—	—	27
磁	石	—	—	1,275	—	1,854
	石	579	—	—	—	16
	草	16	—	—	—	3,647
紙石紙小夏	草	3,379	—	268	—	1,100
	卷炭	—	—	—	1,100	256,091
	(撫順)	256,091	—	—	—	750
	機粗	750	—	—	—	132
	製	107	—	—	25	96
同藥桐紙同	精	85	2	—	9	340
	一二	273	—	—	67	593
	錫其	593	—	—	—	982
	等	948	—	—	34	5,413
	錫其	4,449	—	—	964	897
同同糖三靴	錫其	204	—	—	693	830
	蒸及	640	190	—	—	180
	絹	124	—	15	41	124
	絲	119	—	—	5	2,128
生同	白黃	2,128	—	—	—	—
	雙	—	—	—	—	—
	雙	7	—	—	—	—

品名	單位	日本	英國	米國	香港	其他	上海	大連	其他	合計
(金屬品)										
銅銅片	擔	2	—	—	—	—	—	2	—	4
銅銅板	擔	15	—	—	—	—	1	—	—	16
(鐵及軟鐵新)	擔	4	—	—	—	—	—	—	—	4
條鐵及屑鐵線	擔	40	—	—	365	—	1,108	4	89	1,606
條鐵及屑鐵線	擔	—	—	—	590	—	939	—	5	1,532
條鐵及屑鐵線	擔	—	—	—	—	—	364	—	—	364
條鐵及屑鐵線	擔	—	—	—	—	—	—	—	—	—
條鐵及屑鐵線	擔	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鐵線及軟鐵(古片)	擔	1	—	—	447	—	929	50	—	1,427
鐵線及軟鐵(古片)	擔	334	—	—	149	—	273	46	—	1,139
鐵線及軟鐵(古片)	擔	20	—	—	8	—	257	—	—	285
鐵線及軟鐵(古片)	擔	4,438	—	—	8,403	—	4,147	—	—	16,988
鐵線及軟鐵(古片)	擔	—	—	—	105	—	446	—	—	551
塊鐵及鐵線	擔	—	—	—	731	—	55	—	—	786
塊鐵及鐵線	擔	84	—	—	140	—	409	—	—	633
塊鐵及鐵線	擔	1	9,727	—	106	—	108	—	—	9,942
塊鐵及鐵線	擔	—	—	—	—	—	—	—	—	—
袋酒帶一釦	擔	793	—	—	4,288	—	660	—	—	5,741
袋酒帶一釦	擔	840	—	—	—	—	391	—	—	1,223
袋酒帶一釦	擔	8	—	—	—	—	—	—	—	8
袋酒帶一釦	擔	1	—	—	—	—	5	—	—	6
袋酒帶一釦	擔	782	—	—	—	—	—	—	—	782
燭(日本品)器草	擔	6	—	—	—	—	133	—	—	139
燭(日本品)器草	擔	—	—	—	—	—	2	—	—	2
燭(日本品)器草	擔	1,380	—	—	—	—	—	855	—	2,235
燭(日本品)器草	擔	4,018	—	—	—	—	16	—	—	4,034
燭(日本品)器草	擔	—	100	—	—	—	1,990	—	—	2,090
(日本品)計炭	擔	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(日本品)計炭	擔	108	—	—	—	—	—	—	—	108
(日本品)計炭	擔	597	—	—	—	—	—	—	—	597
(日本品)計炭	擔	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(日本品)計炭	擔	509	—	—	—	322	14,910	832	—	16,573
藍狀粉斯料	擔	—	—	—	—	—	1,255	—	15	1,270
藍狀粉斯料	擔	—	—	—	59	—	—	—	—	59
藍狀粉斯料	擔	7	—	—	250	—	—	—	—	257
藍狀粉斯料	擔	—	—	—	—	—	—	—	—	—
藍狀粉斯料	擔	13,612	—	614	—	208	2,825	—	—	17,259
器粉子器	擔	378	—	—	—	—	—	—	—	378
器粉子器	擔	39	—	—	—	—	71	—	—	110
器粉子器	擔	147	—	—	—	—	137	—	—	294
器粉子器	擔	1,799	—	—	—	—	827	—	—	2,362
器粉子器	擔	67,900	—	—	—	—	—	—	—	67,700
(安全)座	擔	750	—	—	—	—	—	1,600	—	2,350
(安全)座	擔	44,896	—	—	4,995	—	120	—	—	50,311
(安全)座	擔	14	—	—	—	—	13	—	—	27
(安全)座	擔	5,000	—	—	—	—	3,000	—	—	8,000
(安全)座	擔	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(露國箱入)	擔	—	—	897,917	—	—	215,416	—	—	1,113,333
(露國箱入)	擔	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(露國箱入)	擔	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(露國箱入)	擔	—	—	—	—	—	5,000	—	—	5,000

(大正十年四月)

—膠海關貿易統計—

輸入外國品仕出地別

品名	單位	日本	英國	米國	香港	其他	上海	大連	其他	合計
精製阿片 (綿製品類)	擔	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生金布 (米製品)	疋	3,029	—	—	—	—	6,925	2	—	9,956
シーチング (英製品)	"	—	—	—	—	—	1,180	—	—	1,180
同	"	—	—	—	—	—	2,520	—	—	2,520
同晒綾雲 (日本品)	"	24,980	—	—	—	—	320	1,005	—	26,305
金巾 (米製品)	"	5,520	—	—	—	—	6,416	2,059	—	13,995
齊布 (英製品)	"	—	—	—	—	—	315	—	—	315
同	"	—	—	—	—	—	200	—	—	200
同ジエーン (日本品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同	"	2,320	—	—	—	—	230	—	—	2,320
天竺布三十二吋 (日本品)	"	—	—	—	—	—	9,289	—	—	9,289
同冷紗及綿紗布	"	24,912	—	—	—	—	3,310	—	—	28,222
印花斜紋布	"	17	—	—	—	—	1,547	—	—	1,564
同	"	843	—	—	—	—	1,572	—	—	2,415
同	"	—	—	—	—	—	50	—	—	50
捺線綿子布 (綢綾及ラッス井ンク)	"	—	—	—	—	—	60	—	—	60
捺線天竺及ラッス井ンク	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同	"	—	—	—	—	—	3,315	—	—	3,315
同	"	5,344	—	—	—	—	5,983	—	—	11,327
同	"	—	—	—	—	—	3,412	—	—	3,412
同染色綾布 (日本品)	"	225	—	—	—	—	1,096	560	—	1,881
同花色綾布	"	340	—	—	—	—	26	—	—	366
同緋巾及綿天竺布	"	7,360	—	—	—	—	740	—	—	8,100
綿スパンシストライフ六十四吋	"	34	—	—	—	—	722	—	—	756
綿フランネル	"	1,018	—	—	—	—	—	—	—	1,018
同フランクット巾	擔	14	—	—	—	—	—	—	—	14
同手打巾	擔	140	—	—	—	—	329	—	—	469
同オ (日本品)	"	—	—	—	—	—	1	—	—	1
同織絲 (印度)	"	6	—	—	—	—	—	—	—	6
同	"	—	—	—	—	—	1,251	—	—	1,251
同縫絲 (日本)	"	12,329	—	—	—	—	126	155	—	12,610
同綿交織類 (毛製)	"	4,130	—	—	—	—	200	—	—	4,330
ユニオン及ボンチョークロス (毛製品類)	碼	—	—	—	—	—	—	—	—	—
綾羅伯 (雜製)	疋	—	—	—	—	—	—	—	—	—
世ウル織品	擔	—	—	—	—	—	5	—	—	5
伊及毛絲 (雜製)	斤	345	—	—	—	—	—	—	—	—
呂多絲織	斤	—	—	—	—	—	531	469	—	1,345

青島實業協會員

(定不序順)

會員		代表者	
岩城商會支店	伊藤忠商事株式會社青島支店	田邊郁太郎	早舟町
原田汽船株式會社青島支店	川畑竹馬	上林三太郎	所澤町
日本郵船株式會社青島出張事務所	西岡勝三郎	所澤町	所澤町
日本棉花株式會社青島支店	鶴原梅次郎	葉櫻町	葉櫻町
東和公司青島支店	河原熊太郎	北京町	北京町
東亞煙草株式會社青島販賣所	西村義郎	北京町	北京町
朝鮮銀行青島支店	讚井源輔	所澤町	所澤町
大倉商事株式會社青島出張所	石橋藤次郎	早霧町	早霧町
橫濱正金銀行青島支店	野原大輔	所澤町	所澤町
大連汽船株式會社青島出張所	松本文三郎	葉櫻町	葉櫻町
大日本麥酒株式會社青島出張所	三宅重孝	臺東鎮良通 市外四方庄	吉澤
內外綿株式會社青島出張所	佐々木國藏	早霧町	青島製粉株式會社支店
山田出張所	山田三平	市場通	新利洋行出張所
三菱商事株式會社青島出張所	東條吉之助	早舟町	福昌公司青島出張所
神戸棧橋株式會社青島派出所	鹽谷治太郎	葉櫻町	南昌洋行青島出張所
山東運輸株式會社青島支店	神谷武松	北京町	龍口銀行青島支店
日華協信公司青島支店	藤波茂時	若鶴町	濱口商事株式會社青島出張所
青島絲廠	鈴木格三郎	若鶴町	青島銀行
山東化學工業所	磯野清平	早霧町	日華窯業株式會社
青島鹽業株式會社	三好光三郎	佐賀町	大日本紡績株式會社
東洋殖殖株式會社青島支店	針貝金次郎	若鶴町	大阪商船株式會社
東洋製油株式會社青島支店	田中穆	堺町	大正隆銀行支店
大星公司青島支店	遠藤要	靜岡町	
青島取引所信託株式會社	峰村正三		
會員		代表者	
山東葉煙草株式會社	伊東經真	輕藻町	
江商株式會社青島支店	一宮晃	所澤町	
安部幸兵衛商店青島出張店	副島高市	所澤町	
湯淺貿易株式會社青島出張所	小林乃	葉櫻町	
三井物產株式會社青島支店	櫻井信四郎	所澤町	
峯村洋行	大塚彌	葉櫻町	
合名會社鈴木商店青島出張所	金子慶治	吳淞町	
中村組青島支店	關口四平	吳淞町	
東洋鹽業株式會社青島支店	貝原收藏	大和町	
泰利商會	松崎翠	早霧町	
山東興業株式會社	空閑知鷺治	葉櫻町	
吉澤洋行	吉澤干城	市場通	
青島製粉株式會社支店	百溪深	三月町	
新利洋行出張所	古賀茂登吉	野山町	
福昌公司青島出張所	武田昌雄	若葉町	
南昌洋行青島出張所	中村道三	葉櫻町	
龍口銀行青島支店	原田昇	保定町	
濱口商事株式會社青島出張所	榎本勝吉	吳淞町	
青島銀行	石井久次	市場通	
日華窯業株式會社	中村康之助	滄口町	
大日本紡績株式會社	進藤省吾	筑後町	
大阪商船株式會社	川原井左司馬	早舟町	
大正隆銀行支店	松本正平	大黑町	

大正十年六月十八日印刷

大正十年六月二十日發行

大正七年八月十九日第三種郵便物認可 (每月一回二十日發行)

發行兼編輯者
印刷所
印刷人

青島靜岡町十番地吉見正任
青島靜岡町十四番地青島實業協會
青島靜岡町十四番地青島新報社
青島靜岡町十四番地足立孝

(實費金參拾錢)